

令和5年度事務事業評価シート

令和6年3月22日

事業番号	4852	担当課等	学校教育課							
事務事業名	教育支援教室推進事業									
予算科目コード	会計	1	款	9	項	1	目	2	事業開始年度	平成4年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
ゆがわら2022 プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の充実	⑦不登校などの問題解決				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
				○					
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	小中学校において、心因的な理由で不登校となる児童生徒は年々増加傾向にある。不登校対策として平成4年度に学校校外指導室「適応指導教室」を開設した。令和2年度から名称を「教育支援教室」と改めた。								
対象	心因的理由での不登校児童生徒								
内容	心因的理由での不登校児童生徒の学習指導 不登校児童生徒の保護者に対する助言 不登校児童生徒の学校復帰への生活指導 小中学校医との連携								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和3年度(決算)		令和4年度(決算)		令和5年度(見込)	
	事業費		577,016		555,909		691,000	
	人件費	常勤職員						
		会計年度任用職員等	577,944		577,488			
		人件費合計	577,944		577,488		0	
	総事業費		1,154,960		1,133,397		691,000	
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他特定財源							
	一般財源		1,154,960		1,133,397		691,000	
	財源合計		1,154,960		1,133,397		691,000	
活動指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和3年度	令和4年度	目標値
進級児童生徒数						11	8	0
						0	0	0
成果指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和3年度	令和4年度	目標値
現籍校へ復帰した児童生徒数						5	4	0
						0	0	0

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	湯河原町立小中学校に通う児童生徒対象のため。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	基本的な生活習慣を身につけさせ、集団生活に適用できるよう段階的に指導し、学校へ復帰させる。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	不登校だった児童生徒が教育支援教室に通級するようになり、教育支援教室の小さな集団生活をするにより、原籍学校へ復帰できるようになる。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	教室の案内パンフレットを作成し、小中学校や町内施設に配架し、周知をしている。
令和4年度までの自己評価または改善点	不登校の児童生徒にとって、居場所となり得る教育支援教室の存在は必須のものと考え、植物菜園などの園芸活動その他様々な活動の中で、集団生活への適応を指導している。		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	保護者、学校、関係諸機関との連携が必要な為、委託等は不可能と思われる。
令和5年度の見直し及び改善予定	原則として、小学校4年生以上の児童と中学校の生徒が対象でしたが、小学校低学年児童やひきこもりの児童生徒についても学校と連携して随時家庭訪問を行っています。	
令和6年度以降の方向性	引続き、不登校児童生徒を原籍校へ復帰させるため、関係機関との連携を図りつつ指導していきます。	

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	不登校児童生徒を原籍校へ復帰させるために指導し、保護者へ助言を行う。
---------	----------	------------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	一次評価と同様
---------	----------	---------

令和5年度事務事業評価シート

令和6年3月22日

事業番号	4862		担当課等		学校教育課					
事務事業名	小中学校児童生徒作品展開催事業									
予算科目コード	会計	1	款	9	項	1	目	2	事業開始年度	

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
ゆがわら2022 プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の充実	①特色ある教育の推進				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
				○					
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	湯河原町立小・中学校の児童生徒の作品を町立図書館に展示し、小・中学校の学習の成果の発表と鑑賞の機会を提供し、この機会に児童生徒の多彩な学習の成果を住民に知ってもらい、開かれた学校運営を目指す。								
対象	町立小・中学校の児童・生徒								
内容	湯河原町立小・中学校の児童生徒の作品を11月下旬～12月上旬に町立図書館に展示し、小・中学生の学習の成果の発表と鑑賞の機会を提供する。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和3年度(決算)		令和4年度(決算)		令和5年度(見込)	
	事業費		90,000		70,000	
コスト	人件費	常勤職員				
		会計年度任用職員等				
		人件費合計	0	0	0	0
	総事業費		90,000	90,000	70,000	70,000
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源		90,000	90,000	70,000	70,000
	財源合計		90,000	90,000	70,000	70,000
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
				0	0	0
				0	0	0
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
				0	0	0
				0	0	0

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	小中学生の学習成果の発表と鑑賞の機会を提供し、成果を住民に知ってもらい、開かれた学校運営を目指す。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	児童・生徒の作品を広く発表する機会があることで児童・生徒の学習意欲の向上を図ることができている。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	作品展として町民等多くの皆さんに児童・生徒の学習成果を知ってもらえる。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	児童・生徒全員の作品の中から優秀作品を選定している。
令和4年度までの自己評価または改善点		児童・生徒の作品を展示し学習成果を発表することで、生徒の意欲向上を図っている。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	9	湯河原町教育研究会に委託
令和5年度の見直し及び改善予定	これまでは、児童・生徒の作品を町立図書館に展示していたが、令和5年度から各校での巡回展示に変更する。	
令和6年度以降の方向性	今後も、児童・生徒の作品を展示し学習成果を発表することで、生徒の意欲向上を図りたい。	

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	児童・生徒の作品を広く発表する機会があることで児童・生徒の学習意欲の向上が期待できる。
---------	----------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	一次評価と同様
---------	----------	---------

令和5年度事務事業評価シート

令和6年3月22日

事業番号	4866	担当課等	学校教育課						
事務事業名	教職員等研修事業								
予算科目コード	会計	1	款	9	項	1	目	2	事業開始年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
ゆがわら2022 プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の充実	⑨教育研究・教職員研修の充実				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
				○					
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	教職員の資質の向上を図るため研修事業を実施する。								
対象	全教職員								
内容	湯河原町幼保小中連携研修会及び湯河原町人権教育研修会として、人権教育を主とした研修会を開催								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和3年度(決算)	令和4年度(決算)		令和5年度(見込)	
	事業費			33,476	72,000		
	人件費	常勤職員		342,800			
		会計年度任用職員等					
		人件費合計	0	342,800	0		
	総事業費			376,276	72,000		
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源						
	一般財源		0	376,276	72,000		
	財源合計		0	376,276	72,000		
活動指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
研修会実施回数					0	1	0
					0	0	0
成果指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	公立幼・小・中学校教職員の資質向上のために必要である。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	子どもたちを取り巻く社会は日々多様化・複雑化しており教職員に対し広い見識が求められる中で毎年研修会を実施し、教職員の資質向上を図った。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	4	効果の測定は難しいが教職員の学習機会を確保することで見識の底上げが期待できる。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	保育園と連携して保育士まで参加範囲を拡大し実施している。
令和4年度までの自己評価または改善点		令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を講じながら、研修会を実施することができた、	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	町教育委員会が主導で実施する教職員に対する講演会
令和5年度の見直し及び改善予定	令和5年度以降は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことを受け、コロナ禍前と同様に実施していきたい。	
令和6年度以降の方向性	継続して実施する。	

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	教職員の資質向上のために継続実施する必要がある。
---------	----------	--------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	一次評価と同様
---------	----------	---------

令和5年度事務事業評価シート

事業番号		担当課等	学校教育課						
事務事業名	人権問題研究会等参加事業								
予算科目コード	会計	1	款	9	項	1	目	2	事業開始年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細 施 策				
ゆがわら2022 プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の充実	5 人権教育の推進				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
				○					
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
	○								
目 的	人権に対する知識を深める。								
対 象	教育委員会事務局職員								
内 容	同和三団体の研究会への参加や雑誌等の購入								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和3年度(決算)		令和4年度(決算)		令和5年度(見込)	
	事業費		128,000		89,000		127,000	
	人件費	常勤職員	57,556		56,660		59,526	
		会計年度任用職員等						
		人件費合計	57,556		56,660		59,526	
	総事業費		185,556		145,660		186,526	
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他特定財源							
	一般財源		185,556		145,660		186,526	
	財源合計		185,556		145,660		186,526	
活動指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和3年度	令和4年度	目標値
						0	0	0
						0	0	0
成果指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和3年度	令和4年度	目標値
						0	0	0
						0	0	0

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	4	人権団体主催の研究会等に参加することで人権に関する知見を深めることができる。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4	人権団体主催の研究会等に参加することで人権団体に対し町教育委員会の姿勢を示すことができる。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	4	人権団体主催の研究会等に参加することで人権団体に対し町教育委員会の姿勢を示すことができる。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4	研究会等の参加内容を学校現場にフィードバックできない部分がある。
令和4年度までの自己評価または改善点		人権問題の認識を高めることができる。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	啓発に関することあるため教育委員会で実施したい。
令和5年度の見直し及び改善予定	これまでと同様に取り組みたい。	
令和6年度以降の方向性	今後も継続して実施する。	

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	人権団体主催の研究会等に参加することで人権に関する知見を深めることができる。
---------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	一次評価と同様
---------	----------	---------

令和5年度事務事業評価シート

令和6年3月22日

事業番号	4889	担当課等	学校教育課						
事務事業名	小学校音楽会開催事業								
予算科目コード	会計	1	款	9	項	1	目	2	事業開始年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
ゆがわら2022 プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の充実	②小学校教育の充実				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
				○					
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	優れた演奏家などの音楽を聴くことにより、児童たちの情操を深める。								
対象	町内小学校児童								
内容	町内小学校の児童が町民体育館等集い、日常の音楽活動の成果を発表しあい、交流の輪をひろげ、優れた演奏家の音楽を聴く。								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和3年度(決算)	令和4年度(決算)		令和5年度(見込)		
	事業費		0	220,000		220,000		
	人件費	常勤職員						
		会計年度任用職員等						
		人件費合計	0	0		0		
	総事業費		0	220,000		220,000		
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他特定財源							
	一般財源		0	220,000		220,000		
	財源合計		0	220,000		220,000		
活動指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和3年度	令和4年度	目標値
実施回数						0	1	0
						0	0	0
成果指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和3年度	令和4年度	目標値
						0	0	0
						0	0	0

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	優れた音楽家の演奏を直接聴くことにより豊かな心を育むことができる。
効 率 性	投入した費用に見合った効果が得られているか	5	3小学校合同で開催することで、全小学校の児童を対象に情操を深めることができている。
類 似 性	他事業との類似はないか		
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	質の高い生の演奏を直接聴くことで情操を深めることができる。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	3	実施内容から小学校4・5年生を対象としている。
令和4年度までの自己評価または改善点	令和4年度については、湯河原小学校体育館を会場として、3年ぶりに実施することができ、他校の演奏や特別演奏の鑑賞を通して、音楽に対する感性を育てるとともに町内3小学校の交流を深めることができました。		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	9	河原町教育研究会に委託
令和5年度の見直し及び改善予定	令和5年度は、感染症対策を講じながらコロナ禍前と同様に実施できるよう検討していきたい。	
令和6年度以降の方向性	継続して実施する。	

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	質の高い生の演奏を聴くことができ情操を深めることができる。また、3小学校の交流も期待できる。
---------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	一次評価と同様
---------	----------	---------

令和5年度事務事業評価シート

令和6年3月22日

事業番号		担当課等	学校教育課						
事務事業名	小中学校児童生徒支援事業								
予算科目コード	会計	1	款	9	項	1	目	2	事業開始年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基 本 目 標	政 策	分 野	主 要 施 策	細 施 策				
ゆがわら2022 プラン 前 期 基 本 計 画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の充実	②小学校教育の充実、③中学校教育の充実				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
				○					
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目 的	特別な支援・配慮を必要とする児童・生徒にきめ細やかな対応をする。								
対 象	各校児童・生徒								
内 容	児童・生徒を指導する教職員に対し助言やアドバイスを行う支援教育アドバイザー・スクールソーシャルワーカーの派遣を実施している。また、発達検査の実施や「楽しい学校生活を送るためのアンケート」(心理テスト)を年2回実施している。								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和3年度(決算)		令和4年度(決算)		令和5年度(見込)	
	事業費		1,847,355		2,018,535		2,932,000	
	人件費	常勤職員						
		会計年度任用職員等						
		人件費合計	0		0		0	
	総事業費		1,847,355		2,018,535		2,932,000	
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他特定財源							
	一般財源		1,847,355		2,018,535		2,932,000	
	財源合計		1,847,355		2,018,535		2,932,000	
活動指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和3年度	令和4年度	目標値
						0	0	0
						0	0	0
成果指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和3年度	令和4年度	目標値
						0	0	0
						0	0	0

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	児童・生徒へのきめ細やかな対応が必要である。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	未就学の時期から就学支援を実施するなどネットワークを構築している。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	配慮が必要な児童・生徒にきめ細やかな対応ができています。 アンケートを定期的の実施することで、いじめの早期発見や解消に組織的に対応ができています。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	各学校で実施している。
令和4年度までの自己評価または改善点		継続して支援することで、児童・生徒にきめ細やかな対応ができています。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	行政が実施する必要がある。
令和5年度の見直し及び改善予定	支援教育アドバイザー・スクールソーシャルワーカーについて、更に有効活用していきたい。	
令和6年度以降の方向性	教育現場の声を聴きながら継続実施していく。	

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	児童・生徒への支援を継続していく。
------	----------	-------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	一次評価と同様
------	----------	---------

令和5年度事務事業評価シート

令和6年3月22日

事業番号	4915	担当課等	学校教育課						
事務事業名	校外体験学習推進事業								
予算科目コード	会計	1	款	9	項	1	目	2	事業開始年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
ゆがわら2022 プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の充実	①特色ある教育の推進				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
				○					
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	郷土の特色ある地場産業、自然を実際に体験することで、湯河原町民の一員として、自分の住む町をより理解し、郷土愛が育まれる。								
対象	町内小学校児童								
内容	次の体験教室を開催する。 ・お茶摘み体験（児童が茶摘みを体験し、そのお茶を給食等で試飲することにより、農業に対する理解を深める。）・温泉入浴体験教室（こごめの湯で温泉の入り方とマナーを学ぶ。）・稚鮎の放流体験（郷土の自然や生き物へのいつくしみを深める。）								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和3年度(決算)	令和4年度(決算)	令和5年度(見込)		
	事業費		397,886	616,979	866,000		
	人件費	常勤職員	1,159,120	1,133,200	1,190,520		
		会計年度任用職員等	66,478	66,478	66,478		
		人件費合計	1,225,598	1,199,678	1,256,998		
	総事業費		1,623,484	1,816,657	2,122,998		
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源						
	一般財源		1,623,484	1,816,657	2,122,998		
	財源合計		1,623,484	1,816,657	2,122,998		
活動指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0
成果指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	地場産業や自然を体験することで郷土を学ぶことができる。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	町内の関係団体から協力をいただき実施している。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	地域の産業など身をもって体験することで地域を考える機会を作りだし、教育の充実につながっていくと考える。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	学習状況に合わせた特定の学年で毎年実施しており、多くの児童が参加している。
令和4年度までの自己評価または改善点		令和4年度については、3年ぶりに全ての体験学習を実施することができ、町内小 学校の児童は、湯河原町の自然を体験することで郷土を学ぶことができました。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理 導入の可能性	9	農事組合法人南郷協同組合に委託
令和5年度の見直し 及び改善予定	令和4年度に引き続き、体験学習を実施することで、湯河原町独自の文化や自然 を体験することで郷土愛を育んでいきたい。	
令和6年度以降の 方向性	継続して実施する。	

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	郷土の特色ある地場産業、自然を実地に体験 することで、自分の住む町をより理解し、郷土愛を 育む教育を推進する。
---------	----------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	一次評価と同様
---------	----------	---------

令和5年度事務事業評価シート

令和6年3月22日

事業番号	4943	担当課等	学校教育課							
事務事業名	子どもフォーラム開催事業									
予算科目コード	会計	1	款	9	項	1	目	2	事業開始年度	平成23年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
ゆがわら2022 プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の充実	①特色ある教育の推進				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
				○					
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	「笑顔あふれる最高の楽校(がっこう)」(平成23年度湯河原町子どもフォーラム宣言)の実現と、児童・生徒が主体的に活動できる場を設定することにより、よりよい「小・小連携」「小・中接続」の実現を目指す。								
対象	町内各小中学校の児童・生徒								
内容	児童・生徒が主体的、協働的に活動できる場を、年間4回設定することで、自分たちの手でよりよい学校や町を創る意識を高め、行動する児童・生徒を育成する。								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和3年度(決算)	令和4年度(決算)	令和5年度(見込)		
	事業費		56,233	74,211	283,000		
	人件費	常勤職員	701,300	1,028,400	892,890		
		会計年度任用職員等					
		人件費合計	701,300	1,028,400	892,890		
	総事業費		757,533	1,102,611	1,175,890		
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源						
	一般財源		757,533	1,102,611	1,175,890		
	財源合計		757,533	1,102,611	1,175,890		
活動指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
開催数					1	2	0
					0	0	0
成果指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
参加者(児童・生徒、一般)					13	44	0
					0	0	0

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	児童・生徒が自分たちの学校や町を大切に思い、よりよくしていこうとする意識や行動に繋げるために、町が実施する必要がある。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	本町出身の方にコーディネートしていただくことで、町を愛するという共通項を持って、事業を行うことができる。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	昨年度も参加した児童・生徒が、今年度も参加するという循環が生まれているが、個々の生活スタイルの変化により、参加ができない場合もある。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	児童・生徒たちの手で、「笑顔あふれる最高の楽校(がっこう)」を実現することで、町立学校に通う全ての児童・生徒に還元することができる。
令和4年度までの自己評価または改善点		令和4年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を実施しながら、2日間の日程で実施することができました。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	開催にあたり、教育委員会において、学校等各関係機関との連携が必要であるため。
令和5年度の見直し及び改善予定	参加しやすい状況を設定するため、児童・生徒が主体的に参加、活動できるよう、情報発信を工夫するとともに、子どもフォーラムの目的から逸脱しない範囲での行事を企画している。	
令和6年度以降の方向性	地域の方にも、積極的に参加していただけるような事業に発展させる。	

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	主体的、協働的に行動し、考えることができる児童・生徒を育成するために有効な事業と考えている。
---------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	一次評価と同様
---------	----------	---------

令和5年度事務事業評価シート

令和6年3月22日

事業番号	4956	担当課等	学校教育課						
事務事業名	学びづくり推進事業								
予算科目コード	会計	1	款	9	項	1	目	2	事業開始年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
ゆがわら2022 プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の充実	①特色ある教育の推進、⑨教育研究・教職員研修の充実				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
				○					
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	児童・生徒及び地域の実情や課題を踏まえ、課題を解決するための思考力・判断力・表現力等をはぐぐみ、主体的に学習に取り組む姿勢を養うことで、児童・生徒の学力向上を図る。また、特色ある湯河原の学校教育の推進、教育における「現代的課題」への取組、教育研究組織の活性化、教職員の意識改革と意欲向上を図る。								
対象	町内小中学校の児童・生徒、全教職員								
内容	「かながわの学びづくり推進事業」は終了したが、町独自で事業を継続し、各学校での創意工夫を生かした、教職員の授業力向上及び授業改善を図る。								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和3年度(決算)	令和4年度(決算)		令和5年度(見込)		
	事業費		210,000	312,440		405,000		
	人件費	常勤職員						
		会計年度任用職員等						
		人件費合計	0	0		0		
	総事業費		210,000	312,440		405,000		
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他特定財源							
	一般財源		210,000	312,440		405,000		
	財源合計		210,000	312,440		405,000		
活動指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和3年度	令和4年度	目標値
講演会回数						6	12	0
						0	0	0
成果指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和3年度	令和4年度	目標値
						0	0	0
						0	0	0

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	町の児童・生徒の実態、町立学校の状況、それらを取り巻く町の状況を反映した取組みを実現するためには、町の事業として実施する必要がある。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	校内研究会に、外部講師を複数回招聘することで、理論と実践がつながり、質の高い研究会を実施でき、授業力向上、授業改善が図れる。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	4	継続して同じ講師を招聘することができ、町立学校教職員の授業力向上、実践的指導力の向上に多大な効果を得られている。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	町立学校に通う全ての児童・生徒に対して、質の高い授業を提供することが、公教育の目指すべき方向である。
令和4年度までの自己評価または改善点		町立各小中学校及び幼稚園に外部講師を招き、公教育における幼小中の「学び」の連続性を意識した取組みを行った。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	9	湯河原町教育研究会に対して、教育課題研究を委託している。
令和5年度の見直し及び改善予定	町立学校同士で授業を見学し合うだけでなく、町外のよりよい実践を吸収し、本町の公教育に還元するため、教職員が先進校のみならず、近隣市町村の校内研究会等にも積極的に参加できるように働きかける。	
令和6年度以降の方向性	町立保育園と、「学び」の部分を共有し、義務教育を終えるまでに、町としてどのような生徒を育てたいかを明確にした上で、幼保小中の情報連携・行動連携を図っていく。	

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	教職員の授業力向上及び授業改善を図るため、継続的な実施が必要である。
---------	----------	------------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	一次評価と同様
---------	----------	---------

令和5年度事務事業評価シート

令和6年3月22日

事業番号	4986	担当課等	学校教育課							
事務事業名	人権教育等促進事業									
予算科目コード	会計	1	款	9	項	1	目	2	事業開始年度	平成26年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
ゆがわら2022 プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の充実	⑤人権教育の促進				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
				○					
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	いじめは、どの学校でも、どの子にも起こり得る問題であるという前提のもとに、いじめを生まない土壌づくりを図るものです。								
対象	町内小中学校の児童生徒及び教職員								
内容	湯河原町いじめに関する調査委員会からの答申の中で示された提言を受け、小学5・6年生及び中学生を対象とし、「人権川柳」を募集した。 また、小学5・6年生及び中学生において、社会生活技能訓練(アート・コミュニケーション・トレーニング)を実施している。								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和3年度(決算)	令和4年度(決算)		令和5年度(見込)		
	事業費		1,639,330	1,652,450		1,673,000		
	人件費	常勤職員	289,780	283,300		297,630		
		会計年度任用職員等						
		人件費合計	289,780	283,300		297,630		
	総事業費		1,929,110	1,935,750		1,970,630		
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他特定財源							
	一般財源		1,929,110	1,935,750		1,970,630		
	財源合計		1,929,110	1,935,750		1,970,630		
活動指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和3年度	令和4年度	目標値
人権川柳応募者数						567	577	0
						0	0	0
成果指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和3年度	令和4年度	目標値
						0	0	0
						0	0	0

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	平成26年4月に起きた悲しい事件を風化させないようにするため、町が積極的に事業に取り組む必要がある。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	最優秀作品となった人権川柳については、各学校や町役場にて立看板として掲示しており、町民の皆さまに対しても啓発している。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	社会への対応が困難とならないよう、「社会で他社との良好な関係を形成し、それを維持していくための知識や技術」を体系的に習得することができた。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4	アート・コミュニケーション・トレーニングの対象を小学5・6年生に拡大したが、今後は、3・4年生への拡大も検討する。
令和4年度までの自己評価または改善点		小中学校という多感な時期に、コミュニケーション能力や対応能力の育成を行うことは有効であると考えます。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	9	アート・コミュニケーション・トレーニングをNPO法人に委託
令和5年度の見直し及び改善予定	今後とも継続して、アート・コミュニケーション・トレーニングを実施し、コミュニケーション能力や対応能力の育成を図る。	
令和6年度以降の方向性	今後も同様に取り組んでいく。	

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	町独自の取り組みとして今後とも人権教育を推進し、いじめの未然防止、早期発見及び解消を図る。
------	----------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

--

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	一次評価と同様
------	----------	---------

令和5年度事務事業評価シート

令和6年3月22日

事業番号	9729	担当課等	学校教育課						
事務事業名	ICT教育推進事業								
予算科目コード	会計	1	款	9	項	1	目	2	事業開始年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
ゆがわら2022 プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の充実	⑩教育施設・設備・整備の推進				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
				○					
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	国のGIGAスクール構想に基づき、子どもたち一人ひとりに個別最適化され、創造性を育む教育ICT環境の実現にむけ、推進するもの。								
対象	町内各小中学校の児童・生徒及び教職員								
内容	各小中学校において校内無線LANを整備し、児童・生徒及び教職員に一人1台のパソコン端末を整備しています。								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和3年度(決算)	令和4年度(決算)		令和5年度(見込)	
	事業費		59,616,260	61,708,750		56,175,000	
	人件費	常勤職員	2,103,900	2,056,800		2,142,936	
		会計年度任用職員等	541,260	541,260		541,260	
		人件費合計	2,645,160	2,598,060		2,684,196	
	総事業費		62,261,420	64,306,810		58,859,196	
財源内訳	国庫支出金		1,482,000	4,829,550			
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源						
	一般財源		60,779,420	59,477,260		58,859,196	
	財源合計		62,261,420	64,306,810		58,859,196	
活動指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0
成果指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	生徒・児童及び教職員の教育用のものであり、町が整備する必要がある。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	GIGAスクール構想の実現となる。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	教育用パソコン端末の整備や環境整備によりICT教育の推進をすることができる。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4	限られた予算の中で最善な運用方法を見い出すことが必要である。
令和4年度までの自己評価または改善点		国庫補助制度を利用して、環境整備を迅速に行うことができた。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	運用等の検討も必要となることから、行政として行う必要がある。
令和5年度の見直し及び改善予定	教育委員会や学校のみだけでは適切な運用方法を研究することが難しいため、ICT支援員を委託し、助言等をいただいてる。	
令和6年度以降の方向性	ハード面については、今後のランニングコストを再度精査する必要があると考えます。ソフト面については、町内小中学校の教職員自らが協力し、研究する必要がある。	

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	限られた予算の中で最善な運用方法を見い出す必要がある。
---------	----------	-----------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	一次評価と同様
---------	----------	---------

令和5年度事務事業評価シート

令和6年3月22日

事業番号		担当課等	学校教育課							
事務事業名	学校給食費補助事業									
予算科目コード	会計	1	款	9	項	1	目	2	事業開始年度	

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基 本 目 標	政 策	分 野	主 要 施 策	細 施 策				
ゆがわら2022 プラン 前 期 基 本 計 画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の充実	②小学校教育の充実、				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
				○					
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目 的	小学校給食を安定的に提供する。								
対 象	各小学校の児童とその保護者								
内 容	給食費の一部を補助								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和3年度(決算)		令和4年度(決算)		令和5年度(見込)	
	事業費		12,881,110		16,957,216		0	
	人件費	常勤職員						
		会計年度任用職員等						
		人件費合計	0		0		0	
	総事業費		12,881,110		16,957,216		0	
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他特定財源							
	一般財源		12,881,110		16,957,216		0	
	財源合計		12,881,110		16,957,216		0	
活動指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和3年度	令和4年度	目標値
						0	0	0
						0	0	0
成果指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和3年度	令和4年度	目標値
						0	0	0
						0	0	0

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	子育て支援の一環として助成する必要がある。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	給食費を据え置きながら、提供することができている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	給食費を据え置きながら、提供することができている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	各小学校の児童とその保護者が対象である。
令和4年度までの自己評価または改善点		給食費の急激な上昇を抑制するためできている。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	行政が実施する必要がある。
令和5年度の見直し及び改善予定	令和5年度から公会計化したことにより、補助事業ではなく、賄材料費に上乗せ分を予算計上する。	
令和6年度以降の方向性	保護者の経済的負担を軽減するために継続していきたい。	

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	子育て支援の一環として、引き続き補助を継続したい。
------	----------	---------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	物価高騰等の経済情勢と経済的負担のバランスを継続的に検討する必要がある。
------	----------	--------------------------------------

令和5年度事務事業評価シート

令和6年3月22日

事業番号			担当課等		学校教育課					
事務事業名	小中学校等外国語活動推進事業(幼保・小学校・中学校)									
予算科目コード	会計	1	款	9	項	1	目	2	事業開始年度	

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基 本 目 標	政 策	分 野	主 要 施 策	細 施 策				
ゆがわら2022 プラン 前 期 基 本 計 画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の充実	①特色ある教育の推進				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
				○					
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目 的	外国の言葉や文化に理解を深める。								
対 象	各校児童生徒								
内 容	外国語指導助手の派遣								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和3年度(決算)		令和4年度(決算)		令和5年度(見込)	
	事業費		10,894,950		114,889,507		12,215,000	
	人件費	常勤職員						
		会計年度任用職員等						
		人件費合計	0		0		0	
	総事業費		10,894,950		114,889,507		12,215,000	
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他特定財源							
	一般財源		10,894,950		114,889,507		12,215,000	
	財源合計		10,894,950		114,889,507		12,215,000	
活動指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和3年度	令和4年度	目標値
						0	0	0
						0	0	0
成果指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和3年度	令和4年度	目標値
						0	0	0
						0	0	0

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	外国の言語や文化の理解を深めることができる。
効 率 性	投入した費用に見合った効果が得られているか	5	幼少期から外国語へ触れる機会を構築
類 似 性	他事業との類似はないか		
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	指導助手(ネイティブ)の発音に触れることができる。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	各校児童生徒が対象である。
令和4年度までの自己評価または改善点		「小学校外国語活動事業」「中学校外国語活動事業」「幼保小外国語活動推進事業」を統合して事業意義の強化を図った。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	9	民間事業者へ委託
令和5年度の見直し及び改善予定	引き続き充実した外国語教育を実施した。	
令和6年度以降の方向性	引き続き外国語教育に取り組む。	

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	引き続き継続して実施する。
---------	----------	---------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	一次評価と同様
---------	----------	---------

令和5年度事務事業評価シート

令和6年3月22日

事業番号	0		担当課等			学校教育課				
事務事業名	新型コロナウイルス感染症対策事業									
予算科目コード	会計	1	款	9	項	1	目	2	事業開始年度	令和2年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
ゆがわら2022 プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の充実	②教育基盤の充実				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
				○					
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	各小・中学校及び幼稚園にて、新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、安全・安心な学校(園)生活を推進するもの。								
対象	町内各小中学校、幼稚園の児童・生徒及び教職員								
内容	新型コロナウイルス感染症対策として保健衛生用品等を整備するもの。								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和3年度(決算)	令和4年度(決算)		令和5年度(見込)	
	事業費		499,931	499,987		0	
	人件費	常勤職員					
		会計年度任用職員等					
		人件費合計	0	0		0	
	総事業費		499,931	499,987		0	
財源内訳	国庫支出金		499,931	249,000		0	
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源						
	一般財源		0	250,987		0	
	財源合計		499,931	499,987		0	
活動指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0
成果指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	児童及び職員等の安全・安心の確保や支援であるため、行政が行います。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	新型コロナウイルス感染症対策を充実することができた。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	新型コロナウイルス感染症対策を充実し、児童が感染症対策等を習慣化することができた。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4	消耗品が大多数を占めるので、定期的な整備が必要となります。
令和4年度までの自己評価または改善点		国庫補助制度を活用し、迅速に消毒液等の保健衛生用品や、備品を整備し、感染症対策を講じた学校(園)運営を行うことができた。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:難しい 4:実施済み)			
委託・指定管理導入の可能性	3	性質上、行政が必要である。	鈴木友則(地域政策課): 予算計上がありません
令和5年度の見直し及び改善予定	令和5年度においても、保健衛生用品や備品を整備し、活用していく。		
令和6年度以降の方向性	今後とも継続して、感染症対策を講じた、安全・安心な学校生活の推進を図ります。		

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	限られた予算の中で、最善な対策に努める必要がある。
---------	----------	---------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価		
---------	--	--

令和5年度事務事業評価シート

令和6年3月22日

事業番号	11244	担当課等	学校教育課						
事務事業名	学校遊具・体育器具等整備事業								
予算科目コード	会計	1	款	9	項	1	目	2	事業開始年度

1 事業概要(令和4年度)

1

総合計画との関係	基 本 目 標	政 策	分 野	主 要 施 策	細 施 策				
ゆがわら2022 プラン 前 期 基 本 計 画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の充実	②・③小中学校教育の充実				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
				○					
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目 的	安全な遊具・体育器具の整備								
対 象	町内小中学校の児童・生徒								
内 容	老朽化した遊具・体育器具撤去								

2 実施結果

(単位 円) 2

コスト	区 分		令和3年度(決算)		令和4年度(決算)		令和5年度(見込)	
	事業費		0		1,025,750		0	
	人件費	常勤職員						
		会計年度任用職員等						
		人件費合計	0		0		0	
	総事業費		0		1,025,750		0	
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他特定財源							
	一般財源		0		1,025,750		0	
	財源合計		0		1,025,750		0	
活動指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和3年度	令和4年度	目標値
						0	0	0
						0	0	0
成果指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和3年度	令和4年度	目標値
						0	0	0
						0	0	0

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

3

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	町において、学校の意見を聞き実施する必要があるため。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	安全な遊具・体育器具の整備
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	4	安全な遊具・体育器具の整備
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4	全生徒を対象としているため公平性を保っている。 鈴木友則(地域政策課): 未記入
令和4年度までの自己評価または改善点		安全な遊具・体育器具の整備に資する。	

4 見直し及び改善

4

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	3 行政が実施する必要がある。
令和5年度の見直し及び改善予定	老朽化した遊具等を撤去していく。 鈴木友則(地域政策課): R4の内容では?
令和6年度以降の方向性	計画的に撤去・更新していく。

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

5

総 合 評 価	継続(現状維持)	優先度の高いものから、順次計画的に、撤去・更新をする。
---------	----------	-----------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

6

--

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7

総 合 評 価	継続(現状維持)	一次評価と同様
---------	----------	---------

令和5年度事務事業評価シート

令和6年3月22日

事業番号		担当課等	学校教育課						
事務事業名	学校給食システム導入事業								
予算科目コード	会計	1	款	9	項	1	目	2	事業開始年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基 本 目 標	政 策	分 野	主 要 施 策	細 施 策				
ゆがわら2022 プラン 前 期 基 本 計 画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の充実	②小学校教育の充実				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
				○					
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目 的	学校給食費公会計化に伴う経費								
対 象	各小学校の児童とその保護者								
内 容	公会計化とするためのシステム改修費								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和3年度(決算)		令和4年度(決算)		令和5年度(見込)	
	事業費		0		1,026,750		0	
	人件費	常勤職員						
		会計年度任用職員等						
		人件費合計	0		0		0	
	総事業費		0		1,026,750		0	
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他特定財源							
	一般財源		0		1,026,750		0	
	財源合計		0		1,026,750		0	
活動指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和3年度	令和4年度	目標値
						0	0	0
						0	0	0
成果指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和3年度	令和4年度	目標値
						0	0	0
						0	0	0

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	給食費公会計化のために必要
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	要望の高い事業である。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	公会計化を円滑に進めることができる。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	各小学校の児童とその保護者が対象
令和4年度までの自己評価または改善点		給食費公会計化を遅滞なく実施できた。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	行政が実施する必要がある。
令和5年度の見直し及び改善予定	給食費公会計化のシステム導入し運用を開始した。	
令和6年度以降の方向性	システムを効果的に使用していく。	

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	完了	公会計化のシステム改修が完了したため。
---------	----	---------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

--

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	完了	
---------	----	--

令和5年度事務事業評価シート

令和6年3月22日

事業番号	10100	担当課等	学校教育課						
事務事業名	理科教育設備整備事業								
予算科目コード	会計	1	款	9	項	1	目	2	事業開始年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基 本 目 標	政 策	分 野	主 要 施 策	細 施 策				
ゆがわら2022 プラン 前 期 基 本 計 画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の充実	⑩教育施設・設備・整備の推進				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
				○					
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目 的	理科・算数及び数学に関する教育(理科教育)を実施するための設備整備を行い、教育振興を図るもの								
対 象	町内小中学校の児童・生徒及び教職員								
内 容	学校からの要望を聴取し、観察用顕微鏡や実験・観察器具等を購入し、理科教育の充実を図りました。								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和3年度(決算)	令和4年度(決算)		令和5年度(見込)	
	事業費		1,995,653	1,892,000	2,014,000		
	人件費	常勤職員	289,780	283,300	297,630		
		会計年度任用職員等					
		人件費合計	289,780	283,300	297,630		
	総事業費		2,285,433	2,175,300	2,311,630		
財源内訳	国庫支出金		997,000	945,000	956,000		
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源						
	一般財源		1,288,433	1,230,300	1,355,630		
	財源合計		2,285,433	2,175,300	2,311,630		
活動指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0
成果指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	各学校からの要望に沿って、設備整備をするので、町が行います。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	設備整備の充実をすることで、理科教育等の振興を図ることができる。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	4	教職員の指導方法をより充実させることで、児童・生徒の学習意欲等の向上を図ります。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4	各学校からの要望を伺い、精査をしながら学校に整備しています。
令和4年度までの自己評価または改善点		国庫補助制度を活用し、学校からの要望を計画的に整備することができた。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	学校からの要望を集約する必要があるので、町が行います。
令和5年度の見直し及び改善予定	学校からの要望をとりまとめ、理科備品等を計画的に整備していく。	
令和6年度以降の方向性	国庫補助制度を活用しながら、今後も継続して必要な整備を進める。	

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	計画的な整備を行い、理科教育等の振興を図る。
---------	----------	------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	一次評価と同様
---------	----------	---------

令和5年度事務事業評価シート

令和6年3月22日

事業番号		担当課等	学校教育課						
事務事業名	学校施設整備事業(明繰)								
予算科目コード	会計	1	款	9	項	1	目	2	事業開始年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基 本 目 標	政 策	分 野	主 要 施 策	細 施 策				
ゆがわら2022 プラン 前 期 基 本 計 画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の充実	⑩教育施設・設備・整備の推進				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
				○					
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目 的	小中学校施設の整備								
対 象	小中学校の施設								
内 容	小中学校消防用設備改修工事								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和3年度(決算)		令和4年度(決算)		令和5年度(見込)	
	事業費		0		2,827,000		0	
	人件費	常勤職員						
		会計年度任用職員等						
		人件費合計	0		0		0	
	総事業費		0		2,827,000		0	
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他特定財源							
	一般財源		0		2,827,000		0	
	財源合計		0		2,827,000		0	
活動指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和3年度	令和4年度	目標値
						0	0	0
						0	0	0
成果指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和3年度	令和4年度	目標値
						0	0	0
						0	0	0

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	老朽化した施設・設備は、計画的に回収する必要がある。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	老朽化した施設・設備は、計画的に回収する必要がある。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	老朽化した施設・設備は、計画的に回収する必要がある。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	各学校の在校生が対象
令和4年度までの自己評価または改善点		小中学校消防用設備を改修できた。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	行政が実施する必要がある。
令和5年度の見直し及び改善予定	小中学校消防用設備については、必要に応じ適切に改修していく。	
令和6年度以降の方向性	優先順位の高いものから改修していく。	

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	老朽化したものから計画的に改修する必要がある。
---------	----------	-------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	
---------	----------	--

令和5年度事務事業評価シート

令和6年3月22日

事業番号	5107	担当課等	湯河原小学校						
事務事業名	学校支援ボランティア活用事業(湯河原小学校)								
予算科目コード	会計	1	款	9	項	2	目	1	事業開始年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基 本 目 標	政 策	分 野	主 要 施 策	細 施 策				
ゆがわら2022 プラン 前 期 基 本 計 画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の充実	②小学校教育の充実				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
				○					
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目 的	地域の方々にかかわっていただき、地域との連携を図り、児童を育てる教育環境を推進する。								
対 象	地域のボランティア								
内 容	授業における教師のサポートや、学校図書館の蔵書整理などに地域のボランティアに携わっていただく。								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和3年度(決算)		令和4年度(決算)		令和5年度(見込)	
	事業費		109,362		109,580		120,000	
	人件費	常勤職員						
		会計年度任用職員等						
		人件費合計	0		0		0	
	総事業費		109,362		109,580		120,000	
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他特定財源							
	一般財源		109,362		109,580		120,000	
	財源合計		109,362		109,580		120,000	
活動指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和3年度	令和4年度	目標値
						0	0	0
						0	0	0
成果指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和3年度	令和4年度	目標値
						0	0	0
						0	0	0

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	学校の様々な場面において地域ボランティアにかかわってもらうことで、学校環境の維持向上を図ることができる。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	学校の様々な場面において地域ボランティアにかかわってもらうことで、学校環境の維持向上を図ることができる。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	地域の方が多く学校現場に接してもらうことで、地域と学習の連携が図られるとともに、教育現場の透明性を図ることができる。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	学校環境の維持向上及び透明性が確保されることで児童・生徒の学校生活の向上につながる。
令和4年度までの自己評価または改善点		新型コロナウイルス感染症の影響により縮小していた活動を再開することができた。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	事業の性格上、学校として行う必要があると考える。
令和5年度の見直し及び改善予定	感染対策に留意しながら、地域と連携を図っていく。	
令和6年度以降の方向性	今後も、学校運営の向上を図るよう取り組む。	

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	学校環境の維持向上をボランティアの協力をいただき継続的に図る必要がある。
---------	----------	--------------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	一次評価と同様
---------	----------	---------

令和5年度事務事業評価シート

令和6年3月22日

事業番号			担当課等		湯河原小学校					
事務事業名	児童用机・椅子・教卓等整備事業(湯河原小学校)									
予算科目コード	会計	1	款	9	項	2	目	1	事業開始年度	5116

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基 本 目 標	政 策	分 野	主 要 施 策	細 施 策				
ゆがわら2022 プラン 前 期 基 本 計 画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の充実	⑩教育施設・設備・整備の推進				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
				○					
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目 的	児童用机・椅子・教卓等の学校用品を更新し、児童が安全・安心して学習できる環境を整備する。								
対 象	湯河原小学校								
内 容	児童用机、椅子、教卓等の修繕及び更新。 学校用品は、机の天板を張り替える等修繕して使用しており、修繕不能となるものを更新している。								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和3年度(決算)	令和4年度(決算)		令和5年度(見込)	
	事業費		53,955	35,411		68,000	
	人件費	常勤職員					
		会計年度任用職員等					
		人件費合計	0	0		0	
	総事業費		53,955	35,411		68,000	
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源						
	一般財源		53,955	35,411		68,000	
	財源合計		53,955	35,411		68,000	
活動指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0
成果指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	児童が使用する机等の更新を図るため必要。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	長年の使用により破損する机等があるため、定期的に更新している。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	長年の使用により破損する机等があるため、定期的に更新している。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4	長年の使用により破損する机等があるため、定期的に更新している。
令和4年度までの自己評価または改善点		適宜更新することができている。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	備品等の修繕及び更新事業のため、行政として行う必要があると考える。
令和5年度の見直し及び改善予定	学校の要望を的確に把握し、更新していく。	
令和6年度以降の方向性	現状維持。児童数の推移を注視していく。	

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	破損したり古くなった机・椅子を定期的に更新していく。
---------	----------	----------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	一次評価と同様
---------	----------	---------

令和5年度事務事業評価シート

令和6年3月22日

事業番号			担当課等		湯河原小学校					
事務事業名	新型コロナウイルス感染症対策事業(湯河原小学校)									
予算科目コード	会計	1	款	9	項	2	目	1	事業開始年度	令和2年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基 本 目 標	政 策	分 野	主 要 施 策	細 施 策				
ゆがわら2022 プラン 前 期 基 本 計 画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の充実	②小学校教育の充実				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
				○					
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目 的	学校における新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、安全・安心な学校生活を推進する。								
対 象	湯河原小学校の児童及び教職員								
内 容	新型コロナウイルス感染症対策として保健衛生用品や備品を整備する。								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和3年度(決算)		令和4年度(決算)		令和5年度(見込)	
	事業費		1,309,467		1,350,000		680,000	
	人件費	常勤職員						
		会計年度任用職員等						
		人件費合計	0		0		0	
	総事業費		1,309,467		1,350,000		680,000	
財源内訳	国庫支出金		1,309,467		675,000		340,000	
	県支出金							
	地方債							
	その他特定財源							
	一般財源		0		675,000		340,000	
	財源合計		1,309,467		1,350,000		680,000	
活動指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和3年度	令和4年度	目標値
						0	0	0
						0	0	0
成果指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和3年度	令和4年度	目標値
						0	0	0
						0	0	0

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	児童及び教職員等の安全・安心の確保や支援であるため、行政が行います。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	新型コロナウイルス感染症対策を充実することができた。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	新型コロナウイルス感染症対策を充実し、児童が感染症対策等を習慣化することができた。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4	消耗品が大多数を占めるので、定期的な整備が必要となります。
令和4年度までの自己評価または改善点		国庫補助制度を活用し、迅速に消毒液、網戸等の保健衛生用品や、備品を整備し、感染症対策を講じた学校運営を行うことができた。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	性質上、行政が実施する必要がある。
令和5年度の見直し及び改善予定	令和5年度においても、保健衛生用品や備品の整備をし活用していく。	
令和6年度以降の方向性	今後も継続して、感染症対策を講じ安全・安心な学校生活を推進します。	

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	限られた予算の中で、最善な対策に努める必要がある。
---------	----------	---------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	一次評価と同様
---------	----------	---------

令和5年度事務事業評価シート

令和6年3月22日

事業番号		担当課等	湯河原小学校							
事務事業名	図書等整備事業(湯河原小学校)									
予算科目コード	会計	1	款	9	項	2	目	2	事業開始年度	令和3年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
ゆがわら2022 プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の充実	②小学校教育の充実				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
				○					
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	学校図書の充実や、多様化する学習内容へ対応していくための、教師の資質向上を図るもの。								
対象	湯河原小学校児童及び教職員								
内容	学校図書館における児童用図書、教師用指導書、教育振興教材備品を購入・整備するもの。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和3年度(決算)		令和4年度(決算)		令和5年度(見込)	
	事業費		1,037,965		1,099,966	
コスト	人件費	常勤職員				
		会計年度任用職員等				
		人件費合計	0	0	0	0
	総事業費		1,037,965	1,099,966	1,100,000	1,100,000
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源		1,037,965	1,099,966	1,100,000	1,100,000
	財源合計		1,037,965	1,099,966	1,100,000	1,100,000
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
				0	0	0
				0	0	0
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
				0	0	0
				0	0	0

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	文部科学省の学校図書館整備計画に基づき学校図書館の蔵書等の充実を図るもの。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	蔵書の入替え・充実を図ることで児童の利用が促進できる。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	蔵書の入替え・充実を図ることで児童の利用が促進できる。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	蔵書の入替え・充実を図ることで児童の利用が促進できる。
令和4年度までの自己評価または改善点	令和2年度までの「図書整備事業」、「指導用図書等整備事業」及び「教育振興教材備品事業」を統合したもので、事務のスリム化を図った。 また、学校において児童用図書等の整備を行った。		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	学校図書館の蔵書整備等のため、行政として行う必要があると考える。
令和5年度の見直し及び改善予定	学校の要望を的確に把握し、過不足なく整備していく。	
令和6年度以降の方向性	整備すべき備品等については、今後とも継続して行う必要がある。	

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	定期的な整備を要します。
---------	----------	--------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	一次評価と同様
---------	----------	---------

令和5年度事務事業評価シート

令和6年3月22日

事業番号	12462	担当課等	湯河原小学校							
事務事業名	外部教育力活用事業(湯河原小学校)									
予算科目コード	会計	1	款	9	項	2	目	2	事業開始年度	令和3年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基 本 目 標	政 策	分 野	主 要 施 策	細 施 策				
ゆがわら2022 プラン 前 期 基 本 計 画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の充実	②小学校教育の充実				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
				○					
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目 的	外部講師をお招きし講演会を開催することで、国際文化学習や心身の発達と個性の伸長を促し、学校教育活動の充実を図る。								
対 象	湯河原小学校児童及び教職員								
内 容	国際理解教育や卒業記念に係る講演会等を実施するもの。								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和3年度(決算)	令和4年度(決算)		令和5年度(見込)	
	事業費		67,924	57,645		108,000	
	人件費	常勤職員					
		会計年度任用職員等					
		人件費合計	0	0		0	
	総事業費		67,924	57,645		108,000	
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源						
	一般財源		67,924	57,645		108,000	
	財源合計		67,924	57,645		108,000	
活動指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0
成果指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	国際文化学習等について、児童を対象に講演会を実施しているため。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	講演会の開催により、児童の学習面において、より充実したものにできている。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	講演会の開催により、児童の学習面において、より充実したものにできている。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4	特定の学年を対象としているため公平性を保っている。
令和4年度までの自己評価または改善点	令和2年度までの「国際理解教育推進事業」、「地域教育力活用事業」及び「卒業記念講演会開催事業」を統合したもので、事務のスリム化を図った。 また、外部講師をお招きし講演会を開催し、学校教育活動の充実を図った。		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	講演会を開催することで、児童及び教職員の教育活動の充実を図るため。
令和5年度の見直し及び改善予定	今後も継続実施する。	
令和6年度以降の方向性	引き続き、学校教育活動の充実を図る一助となるよう取り組む。	

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	継続して事業を実施することにより、児童及び教職員の教育活動の充実を図る必要がある。
---------	----------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	一次評価と同様
---------	----------	---------

令和5年度事務事業評価シート

令和6年3月22日

事業番号	5209	担当課等	湯河原小学校						
事務事業名	給食施設整備事業(明繰)(湯河原小学校)								
予算科目コード	会計	1	款	9	項	2	目	3	事業開始年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
ゆがわら2022 プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の充実	⑩教育施設・設備・整備の推進				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
				○					
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	安心・安全な給食の提供								
対象	湯河原小学校児童及び教職員								
内容	ガス回転窯の更新								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和3年度(決算)		令和4年度(決算)		令和5年度(見込)	
	事業費		194,000		583,550		0	
	人件費	常勤職員						
		会計年度任用職員等						
		人件費合計	0		0		0	
	総事業費		194,000		583,550		0	
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他特定財源							
	一般財源		194,000		583,550		0	
	財源合計		194,000		583,550		0	
活動指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和3年度	令和4年度	目標値
						0	0	0
						0	0	0
成果指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和3年度	令和4年度	目標値
						0	0	0
						0	0	0

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	定期的な更新が必要である。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	安全な給食を提供することができる。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	安全な給食を提供することができる。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	安全な給食を提供することができる。
令和4年度までの自己評価または改善点		令和4年度は、ガス回転釜を更新しました。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	給食設備整備のため、行政が行う必要があると考える。
令和5年度の見直し及び改善予定	安心・安全な給食の提供に資するため、適宜整備していく。	
令和6年度以降の方向性	更新や修繕が必要な給食室設備については、計画的な整備をする必要がある。	

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	児童への安全な給食の提供のため、定期的な更新が必要である。
------	----------	-------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	一次評価と同様
------	----------	---------

令和5年度事務事業評価シート

令和6年3月22日

事業番号	5302	担当課等	吉浜小学校						
事務事業名	学校支援ボランティア活用事業(吉浜小学校)								
予算科目コード	会計	1	款	9	項	3	目	1	事業開始年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
ゆがわら2022 プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の充実	②小学校教育の充実				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
				○					
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	地域の方々にかかわっていただき、地域との連携を図り、児童を育てる教育環境を推進する。								
対象	地域のボランティア								
内容	授業における教師のサポートや、学校図書館の蔵書整理などに地域のボランティアに携わっていただく。								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和3年度(決算)		令和4年度(決算)		令和5年度(見込)	
	事業費		114,860		114,785		95,000	
	人件費	常勤職員						
		会計年度任用職員等						
		人件費合計	0		0		0	
	総事業費		114,860		114,785		95,000	
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他特定財源							
	一般財源		114,860		114,785		95,000	
	財源合計		114,860		114,785		95,000	
活動指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和3年度	令和4年度	目標値
						0	0	0
						0	0	0
成果指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和3年度	令和4年度	目標値
						0	0	0
						0	0	0

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	学校の様々な場面において地域ボランティアにかかわってもらうことで、学校環境の維持向上を図ることができる。
効 率 性	投入した費用に見合った効果が得られているか	5	学校の様々な場面において地域ボランティアにかかわってもらうことで、学校環境の維持向上を図ることができる。
類 似 性	他事業との類似はないか		
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	地域の方が多く学校現場に接してもらうことで、地域と学習の連携が図られるとともに、教育現場の透明性を図ることができる。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	学校環境の維持向上及び透明性が確保されることで児童・生徒の学校生活の向上につながる。
令和4年度までの自己評価または改善点		新型コロナウイルス感染症の影響により縮小していた活動を再開することができた。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	事業の性格上、学校として行う必要があると考える。
令和5年度の見直し及び改善予定	感染対策に留意しながら、地域と連携を図っていく。	
令和6年度以降の方向性	今後も、学校運営の向上を図るよう取り組む。	

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	学校環境の維持向上をボランティアの協力をいただき継続的に図る必要がある。
---------	----------	--------------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	一次評価と同様
---------	----------	---------

令和5年度事務事業評価シート

令和6年3月22日

事業番号	5298	担当課等	吉浜小学校						
事務事業名	児童用机・椅子・教卓等整備事業(吉浜小学校)								
予算科目コード	会計	1	款	9	項	3	目	1	事業開始年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細 施 策				
ゆがわら2022 プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の充実	⑩教育施設・設備・整備の推進				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
				○					
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目 的	児童用机・椅子・教卓等の学校用品を更新し、児童が安全・安心して学習できる環境を整備する。								
対 象	吉浜小学校								
内 容	児童用机、椅子、教卓等の修繕及び更新。 学校用品は、机の天板を張り替える等修繕して使用しており、修繕不能となるものを更新している。								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和3年度(決算)	令和4年度(決算)		令和5年度(見込)	
	事業費		149,600	149,930		160,000	
	人件費	常勤職員					
		会計年度任用職員等					
		人件費合計	0	0		0	
	総事業費		149,600	149,930		160,000	
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源						
	一般財源		149,600	149,930		160,000	
	財源合計		149,600	149,930		160,000	
活動指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0
成果指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	児童が使用する机等の更新を図るため必要。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	長年の使用により破損する机等があるため、定期的に更新している。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	長年の使用により破損する机等があるため、定期的に更新している。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4	長年の使用により破損する机等があるため、定期的に更新している。
令和4年度までの自己評価または改善点		適宜更新することができている。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	備品等の修繕及び更新事業のため、行政として行う必要があると考える。
令和5年度の見直し及び改善予定	学校の要望を的確に把握し、更新していく。	
令和6年度以降の方向性	現状維持。児童数の推移を注視していく。	

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	破損したり古くなった机・椅子を定期的に更新していく。
---------	----------	----------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	一次評価と同様
---------	----------	---------

令和5年度事務事業評価シート

令和6年3月22日

事業番号	11906	担当課等	吉浜小学校							
事務事業名	新型コロナウイルス感染症対策事業(吉浜小学校)									
予算科目コード	会計	1	款	9	項	3	目	1	事業開始年度	令和2年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基 本 目 標	政 策	分 野	主 要 施 策	細 施 策				
ゆがわら2022 プラン 前 期 基 本 計 画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の充実	⑩教育施設・設備・整備の推進				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
				○					
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目 的	学校における新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、安全・安心な学校生活を推進します。								
対 象	吉浜小学校の児童及び教職員								
内 容	新型コロナウイルス感染症対策として保健衛生用品等を整備します。								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和3年度(決算)	令和4年度(決算)		令和5年度(見込)	
	事業費		1,366,516	1,350,000		1,020,000	
	人件費	常勤職員					
		会計年度任用職員等					
		人件費合計	0	0		0	
	総事業費		1,366,516	1,350,000		1,020,000	
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源						
	一般財源		1,366,516	1,350,000		1,020,000	
	財源合計		1,366,516	1,350,000		1,020,000	
活動指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0
成果指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	児童及び教職員等の安全・安心の確保や支援であるため、行政が行います。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	新型コロナウイルス感染症対策を充実することができた。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	新型コロナウイルス感染症対策を充実し、児童が感染症対策等を習慣化することができた。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4	消耗品が大多数を占めるので、定期的な整備が必要となります。
令和4年度までの自己評価または改善点		国庫補助制度を活用し、迅速に消毒液、パーテーション等の保健衛生用品や、備品を整備し、感染症対策を講じた学校運営を行うことができた。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	性質上、行政が必要である。
令和5年度の見直し及び改善予定	令和5年度においても、保健衛生用品や備品の整備をし活用していく。	
令和6年度以降の方向性	今後も継続して、感染症対策を講じ安全・安心な学校生活を推進します。	

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	限られた予算の中で、最善な対策に努める必要がある。
---------	----------	---------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	一次評価と同様
---------	----------	---------

令和5年度事務事業評価シート

令和6年3月22日

事業番号	12463	担当課等	吉浜小学校							
事務事業名	図書等整備事業(吉浜小学校)									
予算科目コード	会計	1	款	9	項	3	目	2	事業開始年度	令和3年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
ゆがわら2022 プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の充実	②小学校教育の充実				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
				○					
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	学校図書の充実や、多様化する学習内容へ対応していくための、教師の資質向上を図るもの。								
対象	吉浜小学校児童及び教職員								
内容	学校図書館における児童用図書、教師用指導書、教育振興教材備品を購入・整備するもの。								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和3年度(決算)	令和4年度(決算)		令和5年度(見込)	
	事業費		699,467	1,049,528		700,000	
	人件費	常勤職員					
		会計年度任用職員等					
		人件費合計	0	0		0	
	総事業費		699,467	1,049,528		700,000	
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源						
	一般財源		699,467	1,049,528		700,000	
	財源合計		699,467	1,049,528		700,000	
活動指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0
成果指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	文部科学省の学校図書館整備計画に基づき学校図書館の蔵書等の充実を図るもの。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	蔵書の入替え・充実を図ることで児童の利用が促進できる。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	蔵書の入替え・充実を図ることで児童の利用が促進できる。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	蔵書の入替え・充実を図ることで児童の利用が促進できる。
令和4年度までの自己評価または改善点	令和2年度までの「図書整備事業」、「指導用図書等整備事業」及び「教育振興教材備品事業」を統合したもので、事務のスリム化を図った。 また、学校において児童用図書等の整備を行った。		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	学校図書館の蔵書整備等のため、行政として行う必要があると考える。
令和5年度の見直し及び改善予定	学校の要望を的確に把握し、過不足なく整備していく。	
令和6年度以降の方向性	整備すべき備品等については、今後とも継続して行う必要がある。	

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	定期的な整備を要します。
---------	----------	--------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	一次評価と同様
---------	----------	---------

令和5年度事務事業評価シート

令和6年3月22日

事業番号	12464	担当課等	吉浜小学校							
事務事業名	総合的学習等推進事業(吉浜小学校)									
予算科目コード	会計	1	款	9	項	3	目	2	事業開始年度	令和3年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
ゆがわら2022 プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の充実	②小学校教育の充実				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
				○					
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	各学年の発達段階に応じた活動や調べ学習を行い、教化にとらわれない総合的な課題などについて学習を行います。また、全教職員が参画する校内事業研究会の開催等を推進しました。								
対象	吉浜小学校児童及び教職員								
内容	教職員の資質向上を図るもの。 町が推進する「緑と花のある町づくり」に連動し、情操教育の推進を図る。								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和3年度(決算)	令和4年度(決算)		令和5年度(見込)	
	事業費		149,902	149,720	140,000		
	人件費	常勤職員					
		会計年度任用職員等					
		人件費合計	0	0	0		
	総事業費		149,902	149,720	140,000		
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源						
	一般財源		149,902	149,720	140,000		
	財源合計		149,902	149,720	140,000		
活動指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0
成果指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	総合的な学習内容の充実を図るため、学校において事業を実施する必要がある。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	総合的な学習内容をより充実したものにできている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	総合的な学習内容をより充実したものにできている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	全児童を対象としているため公平性を保っている。
令和4年度までの自己評価または改善点	令和2年度までの「教育研究発表事業」、「花いっぱい教育推進事業」及び「総合的な学習推進事業」を統合したもので、事務のスリム化を図った。 また、学校において総合的な学習の推進を図ることができた。		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	児童及び教職員が総合的な学習を推進するため。
令和5年度の見直し及び改善予定	今後も継続実施する。	
令和6年度以降の方向性	引き続き、各学年の発達段階に応じた学習内容を検討する。	

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	継続して事業を実施することにより、児童の学習意欲の向上及び教職員の資質の向上を図る必要がある。
------	----------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	一次評価と同様
------	----------	---------

令和5年度事務事業評価シート

令和6年3月22日

事業番号	12465	担当課等	吉浜小学校							
事務事業名	外部教育力活用事業(吉浜小学校)									
予算科目コード	会計	1	款	9	項	3	目	2	事業開始年度	令和3年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基 本 目 標	政 策	分 野	主 要 施 策	細 施 策				
ゆがわら2022 プラン 前 期 基 本 計 画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の充実	②小学校教育の充実				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
				○					
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目 的	外部講師をお招きし講演会を開催することで、国際文化学習や心身の発達と個性の伸長を促し、学校教育活動の充実を図る。								
対 象	吉浜小学校児童及び教職員								
内 容	国際理解教育や卒業記念に係る講演会等を実施するもの。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和3年度(決算)		令和4年度(決算)		令和5年度(見込)	
	事業費		30,000		55,000	
コスト	人件費	常勤職員				
		会計年度任用職員等				
		人件費合計	0	0	0	0
	総事業費		30,000	55,000	50,000	
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源		30,000	55,000	50,000	
	財源合計		30,000	55,000	50,000	
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
				0	0	0
				0	0	0
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
				0	0	0
				0	0	0

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	国際文化学習として、児童を対象に講演会を実施しているため。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	講演会の開催により、児童の学習面において、より充実したものにできている。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	講演会の開催により、児童の学習面において、より充実したものにできている。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4	毎年、特定の学年を対象としているため公平性を保っている。
令和4年度までの自己評価または改善点	令和2年度までの「国際理解教育推進事業」、「地域教育力活用事業」及び「卒業記念講演会開催事業」を統合したもので、事務のスリム化を図った。 また、外部講師をお招きし講演会を開催し、学校教育活動の充実を図った。		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	講演会を開催することで、児童及び教職員の教育活動の充実を図るため。
令和5年度の見直し及び改善予定	今後も継続実施する。	
令和6年度以降の方向性	引き続き、学校教育活動の充実を図る一助となるよう取り組む。	

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	継続して事業を実施することにより、児童及び教職員の教育活動の充実を図る必要がある。
---------	----------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	一次評価と同様
---------	----------	---------

令和5年度事務事業評価シート

令和6年3月22日

事業番号	5390		担当課等		吉浜小学校				
事務事業名	給食施設整備事業(明繰)(吉浜小学校)								
予算科目コード	会計	1	款	9	項	3	目	3	事業開始年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基 本 目 標	政 策	分 野	主 要 施 策	細 施 策				
ゆがわら2022 プラン 前 期 基 本 計 画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の充実	⑩教育施設・設備・整備の推進				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ等
				○					
	10 不平等	11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実行手段	該当なし
目 的	安心・安全な給食の提供								
対 象	吉浜小学校児童及び教職員								
内 容	給湯室給湯器改修								

2 実施結果

(単位 円)

		区 分	令和3年度(決算)	令和4年度(決算)	令和5年度(見込)	
コスト		事業費	531,982	649,000	523,000	
	人件費	常勤職員				
		会計年度任用職員等				
		人件費合計	0	0	0	
		総事業費	531,982	649,000	523,000	
財源内訳		国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	531,982	649,000	523,000	
		財源合計	531,982	649,000	523,000	
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
				0	0	0
				0	0	0
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
				0	0	0
				0	0	0

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	安心・安全な給食の提供に資する。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	安全に給食を提供できる。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	安全に給食を提供できる。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	在校生及び教職員に給食を提供している。
令和4年度までの自己評価または改善点		令和4年度は、給湯器を更新しました。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	給食設備整備のため、行政が行う必要があると考える。
令和5年度の見直し及び改善予定	定期的な更新により、安心面・衛生面の向上となります。	
令和6年度以降の方向性	更新や修繕が必要な給食室設備については、計画的な整備をする必要がある。	

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	児童への安全な給食の提供のため、定期的な更新が必要である。
---------	----------	-------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	一次評価と同様
---------	----------	---------

令和5年度事務事業評価シート

令和6年3月22日

事業番号	5493	担当課等	東台福浦小学校						
事務事業名	学校支援ボランティア活用事業(東台福浦小学校)								
予算科目コード	会計	1	款	9	項	4	目	1	事業開始年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
ゆがわら2022 プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の充実	②小学校教育の充実				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
				○					
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	地域の方々にかかわっていただき、地域との連携を図り、児童を育てる教育環境を推進する。								
対象	地域のボランティア								
内容	授業における教師のサポートや、学校図書館の蔵書整理などに地域のボランティアに携わっていただく。								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和3年度(決算)		令和4年度(決算)		令和5年度(見込)	
	事業費		91,694		93,360		115,000	
	人件費	常勤職員						
		会計年度任用職員等						
		人件費合計	0		0		0	
	総事業費		91,694		93,360		115,000	
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他特定財源							
	一般財源		91,694		93,360		115,000	
	財源合計		91,694		93,360		115,000	
活動指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和3年度	令和4年度	目標値
						0	0	0
						0	0	0
成果指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和3年度	令和4年度	目標値
						0	0	0
						0	0	0

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	学校の様々な場面において地域ボランティアにかかわってもらうことで、学校環境の維持向上を図ることができる。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	学校の様々な場面において地域ボランティアにかかわってもらうことで、学校環境の維持向上を図ることができる。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	地域の方が多く学校現場に接してもらうことで、地域と学習の連携が図られるとともに、教育現場の透明性を図ることができる。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	学校環境の維持向上及び透明性が確保されることで児童・生徒の学校生活の向上につながる。
令和4年度までの自己評価または改善点		新型コロナウイルス感染症の影響により縮小していた活動を再開することができた。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	事業の性格上、学校として行う必要があると考える。
令和5年度の見直し及び改善予定	感染対策に留意しながら、地域と連携を図っていく。	
令和6年度以降の方向性	今後も、学校運営の向上を図るよう取り組む。	

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	学校環境の維持向上をボランティアの協力をいただき継続的に図る必要がある。
---------	----------	--------------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	一次評価と同様
---------	----------	---------

令和5年度事務事業評価シート

令和6年3月22日

事業番号	5505	担当課等	東台福浦小学校						
事務事業名	児童用机・椅子・教卓等整備事業(東台福浦小学校)								
予算科目コード	会計	1	款	9	項	4	目	1	事業開始年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基 本 目 標	政 策	分 野	主 要 施 策	細 施 策				
ゆがわら2022 プラン 前 期 基 本 計 画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の充実	⑩教育施設・設備・整備の推進				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
				○					
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目 的	児童用机・椅子・教卓等の学校用品を更新し、児童が・安全・安心して学習できる環境を整備する。								
対 象	東台福浦小学校								
内 容	児童用机、椅子、教卓等の修繕及び更新。 学校用品は、机の天板を張り替える等修繕して使用しており、修繕不能となるものを更新している。								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和3年度(決算)	令和4年度(決算)		令和5年度(見込)	
	事業費		132,000	123,200		134,000	
	人件費	常勤職員					
		会計年度任用職員等					
		人件費合計	0	0		0	
	総事業費		132,000	123,200		134,000	
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源						
	一般財源		132,000	123,200		134,000	
	財源合計		132,000	123,200		134,000	
活動指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0
成果指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	児童が使用する机等の更新を図るため必要。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	長年の使用により破損する机等があるため、定期的に更新している。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	長年の使用により破損する机等があるため、定期的に更新している。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4	長年の使用により破損する机等があるため、定期的に更新している。
令和4年度までの自己評価または改善点		適宜更新することができている。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	備品等の修繕及び更新事業のため、行政として行う必要があると考える。
令和5年度の見直し及び改善予定	学校の要望を的確に把握し、更新していく。	
令和6年度以降の方向性	現状維持。児童数の推移を注視していく。	

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	破損したり古くなった机・椅子を定期的に更新していく。
---------	----------	----------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	一次評価と同様
---------	----------	---------

令和5年度事務事業評価シート

令和6年3月22日

事業番号			担当課等		東台福浦小学校						
事務事業名	校舎等整備事業(東台福浦小学校)										
予算科目コード	会計	1	款	9	項	4	目	1	事業開始年度		

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基 本 目 標	政 策	分 野	主 要 施 策	細 施 策				
ゆがわら2022 プラン 前 期 基 本 計 画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の充実	⑩教育施設・設備・整備の推進				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
				○					
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目 的	学校の修繕必要箇所や工事必要箇所を計画的に改修し、維持管理を図るもの。								
対 象	東台福浦小学校								
内 容	令和4年度実施工事 体育館屋上改修工事 揚水ポンプ更新工事								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和3年度(決算)		令和4年度(決算)		令和5年度(見込)	
	事業費		7,759,888		23,599,950		18,194,000	
	人件費	常勤職員						
		会計年度任用職員等						
		人件費合計	0		0		0	
	総事業費		7,759,888		23,599,950		18,194,000	
財源内訳	国庫支出金				1,000,000			
	県支出金							
	地方債							
	その他特定財源							
	一般財源		7,759,888		22,599,950		18,194,000	
	財源合計		7,759,888		23,599,950		18,194,000	
活動指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和3年度	令和4年度	目標値
						0	0	0
						0	0	0
成果指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和3年度	令和4年度	目標値
						0	0	0
						0	0	0

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	4	町立小学校の維持管理や改修については、学校と連携し実施する必要があるため。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4	長寿命化計画に従い、適切な維持管理を図ること出来ている。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	4	長寿命化計画に従い、適切な維持管理を図ること出来ている。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4	各学校に修繕等の必要箇所が多くあるので、計画的に改修する必要がある。
令和4年度までの自己評価または改善点	令和4年度については、体育館屋上の防水工事及び揚水ポンプの更新工事を行いました。		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	学校施設の維持管理は教育委員会並びに学校長であるため。
令和5年度の見直し及び改善予定	学校が希望する修繕必要箇所を精査し、計画的に改修をしていく。また、改修を要する箇所や適正な時期を見直すなど、学校と連携を図りながら実施していく必要がある。	
令和6年度以降の方向性	今後も継続して、児童・生徒の安全・安心の向上を図るため、計画的な改修等を行います。	

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	計画的に施設改修を行います。
---------	----------	----------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	一次評価と同様
---------	----------	---------

令和5年度事務事業評価シート

令和6年3月22日

事業番号	11905		担当課等		東台福浦小学校					
事務事業名	新型コロナウイルス感染症対策事業(東台福浦小学校)									
予算科目コード	会計	1	款	9	項	4	目	1	事業開始年度	令和2年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
ゆがわら2022 プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の充実	⑩教育施設・設備・整備の推進				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
				○					
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	学校における新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、安全・安心な学校生活を推進します。								
対象	東台福浦小学校の児童及び教職員								
内容	新型コロナウイルス感染症対策として保健衛生用品等を整備します。								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和3年度(決算)		令和4年度(決算)		令和5年度(見込)	
	事業費		964,183		900,000		124,000	
	人件費	常勤職員						
		会計年度任用職員等						
		人件費合計	0		0		0	
	総事業費		964,183		900,000		124,000	
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他特定財源							
	一般財源		964,183		900,000		124,000	
	財源合計		964,183		900,000		124,000	
活動指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和3年度	令和4年度	目標値
						0	0	0
						0	0	0
成果指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和3年度	令和4年度	目標値
						0	0	0
						0	0	0

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	児童及び教職員等の安全・安心の確保や支援であるため、行政が行います。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	新型コロナウイルス感染症対策を充実することができた。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	新型コロナウイルス感染症対策を充実し、児童が感染症対策等を習慣化することができた。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	消耗品が大多数を占めるので、定期的な整備が必要となります。
令和4年度までの自己評価または改善点		国庫補助制度を活用し、迅速に消毒液、パーテーション等の保健衛生用品や、備品を整備し、感染症対策を講じた学校運営を行うことができた。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	性質上、行政が必要である。
令和5年度の見直し及び改善予定	令和5年度においても、保健衛生用品や備品の整備をし活用していく。	
令和6年度以降の方向性	今後も継続して、感染症対策を講じ安全・安心な学校生活を推進します。	

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	新型コロナウイルス感染症が5類に移行したが、他の感染症も含め引き続き対策を講じる必要がある。
---------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	一次評価と同様
---------	----------	---------

令和5年度事務事業評価シート

令和6年3月22日

事業番号	12466	担当課等	東台福浦小学校							
事務事業名	図書等整備事業(東台福浦小学校)									
予算科目コード	会計	1	款	9	項	4	目	2	事業開始年度	令和3年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
ゆがわら2022 プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の充実	②小学校教育の充実				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
				○					
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	学校図書の充実や、多様化する学習内容へ対応していくための、教師の資質向上を図るもの。								
対象	東台福浦小学校児童及び教職員								
内容	学校図書館における児童用図書、教師用指導書、教育振興教材備品を購入・整備するもの。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和3年度(決算)		令和4年度(決算)		令和5年度(見込)	
	事業費		630,773		666,977	
コスト	人件費	常勤職員				
		会計年度任用職員等				
		人件費合計	0	0	0	0
	総事業費		630,773	666,977	670,000	670,000
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源		630,773	666,977	670,000	670,000
	財源合計		630,773	666,977	670,000	670,000
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
				0	0	0
				0	0	0
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
				0	0	0
				0	0	0

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	文部科学省の学校図書館整備計画に基づき学校図書館の蔵書等の充実を図るもの。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	蔵書の入替え・充実を図ることで児童の利用が促進できる。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	蔵書の入替え・充実を図ることで児童の利用が促進できる。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	蔵書の入替え・充実を図ることで児童の利用が促進できる。
令和4年度までの自己評価または改善点	令和2年度までの「図書整備事業」、「指導用図書等整備事業」及び「教育振興教材備品事業」を統合したもので、事務のスリム化を図った。 また、学校において児童用図書等の整備を行った。		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	学校図書館の蔵書整備等のため、行政として行う必要があると考える。
令和5年度の見直し及び改善予定	学校の要望を的確に把握し、過不足なく整備していく。	
令和6年度以降の方向性	整備すべき備品等については、今後とも継続して行う必要がある。	

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	定期的な整備を要します。
---------	----------	--------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	一次評価と同様
---------	----------	---------

令和5年度事務事業評価シート

令和6年3月22日

事業番号	12467	担当課等	東台福浦小学校							
事務事業名	総合的学習等推進事業(東台福浦小学校)									
予算科目コード	会計	1	款	9	項	4	目	2	事業開始年度	令和3年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細 施 策				
ゆがわら2022 プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の充実	②小学校教育の充実				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
				○					
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目 的	各学年の発達段階に応じた活動や調べ学習を行い、教化にとらわれない総合的な課題などについて学習を行います。また、全教職員が参画する校内事業研究会の開催等を推進しました。								
対 象	東台福浦小学校児童及び教職員								
内 容	教職員の資質向上を図るもの。 町が推進する「緑と花のある町づくり」に連動し、情操教育の推進を図る。								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和3年度(決算)		令和4年度(決算)		令和5年度(見込)	
	事業費		115,652		297,000		116,000	
	人件費	常勤職員						
		会計年度任用職員等						
		人件費合計	0		0		0	
	総事業費		115,652		297,000		116,000	
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他特定財源							
	一般財源		115,652		297,000		116,000	
	財源合計		115,652		297,000		116,000	
活動指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和3年度	令和4年度	目標値
						0	0	0
						0	0	0
成果指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和3年度	令和4年度	目標値
						0	0	0
						0	0	0

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	総合的な学習内容の充実を図るため、学校において事業を実施する必要がある。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	総合的な学習内容をより充実したものにできている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	総合的な学習内容をより充実したものにできている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	全児童を対象としているため公平性を保っている。
令和4年度までの自己評価または改善点	令和2年度までの「教育研究発表事業」、「花いっぱい教育推進事業」及び「総合的な学習推進事業」を統合したもので、事務のスリム化を図った。 また、各学校において総合的な学習の推進を図ることができた。		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	児童及び教職員が総合的な学習を推進するため。
令和5年度の見直し及び改善予定	今後も継続実施する。	
令和6年度以降の方向性	引き続き、各学年の発達段階に応じた学習内容を検討する。	

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	継続して事業を実施することにより、児童の学習意欲の向上及び教職員の資質の向上を図る必要がある。
------	----------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	一次評価と同様
------	----------	---------

令和5年度事務事業評価シート

令和6年3月22日

事業番号	12468	担当課等	東台福浦小学校							
事務事業名	外部教育力活用事業(東台福浦小学校)									
予算科目コード	会計	1	款	9	項	4	目	2	事業開始年度	令和3年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基 本 目 標	政 策	分 野	主 要 施 策	細 施 策				
ゆがわら2022 プラン 前 期 基 本 計 画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の充実	②小学校教育の充実				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
				○					
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目 的	外部講師をお招きし講演会を開催することで、国際文化学習や心身の発達と個性の伸長を促し、学校教育活動の充実を図る。								
対 象	東台福浦小学校児童及び教職員								
内 容	国際理解教育や卒業記念に係る講演会等を実施するもの。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和3年度(決算)		令和4年度(決算)		令和5年度(見込)	
	事業費		100,572		101,000	
コスト	人件費	常勤職員				
		会計年度任用職員等				
		人件費合計	0	0	0	0
	総事業費		53,284	100,572	101,000	
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源		53,284	100,572	101,000	
	財源合計		53,284	100,572	101,000	
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
				0	0	0
				0	0	0
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
				0	0	0
				0	0	0

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	国際文化学習等の内容で、児童を対象に講演会を実施しているため。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	講演会の開催により、児童の学習面において、より充実したものにできている。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	講演会の開催により、児童の学習面において、より充実したものにできている。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4	毎年、特定の学年を対象としているため公平性を保っている。
令和4年度までの自己評価または改善点	令和2年度までの「国際理解教育推進事業」、「地域教育力活用事業」及び「卒業記念講演会開催事業」を統合したもので、事務のスリム化を図った。 また、外部講師をお招きし講演会を開催し、学校教育活動の充実を図った。		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	講演会を開催することで、児童及び教職員の教育活動の充実を図るため。
令和5年度の見直し及び改善予定	今後も継続実施する。	
令和6年度以降の方向性	引き続き、学校教育活動の充実を図る一助となるよう取り組む。	

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	継続して事業を実施することにより、児童及び教職員の教育活動の充実を図る必要がある。
---------	----------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	一次評価と同様
---------	----------	---------

令和5年度事務事業評価シート

令和6年3月22日

事業番号	5610	担当課等	東台福浦小学校						
事務事業名	給食施設整備事業(明繰)(東台福浦小学校)								
予算科目コード	会計	1	款	9	項	4	目	3	事業開始年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
ゆがわら2022 プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の充実	⑩教育施設・設備・整備の推進				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
				○					
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	安全・安心な給食の提供								
対象	東台福浦小学校児童								
内容	ガス回転窯の購入								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和3年度(決算)	令和4年度(決算)		令和5年度(見込)	
	事業費		83,820	549,450		0	
	人件費	常勤職員					
		会計年度任用職員等					
		人件費合計	0	0		0	
	総事業費		83,820	549,450		0	
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源						
	一般財源		83,820	549,450		0	
	財源合計		83,820	549,450		0	
活動指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0
成果指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	老朽化した給食機器については、計画的に更新する必要がある。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	安全・安心な給食の提供に資する。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	安全・安心な給食の提供に資する。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	在校生及び教職員に安全な給食を提供できる。
令和4年度までの自己評価または改善点		令和4年度は、ガス回転窯を整備した。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	給食設備整備のため、行政が行う必要があると考える。
令和5年度の見直し及び改善予定	安心面・衛生面の向上となるよう適正に点検しながら改修を図る。	
令和6年度以降の方向性	更新や修繕が必要な給食室設備については、計画的な整備をする必要がある。	

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	児童への安全な給食の提供のため、定期的な更新が必要である。
---------	----------	-------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	一次評価と同様
---------	----------	---------

令和5年度事務事業評価シート

令和6年3月22日

事業番号		担当課等	湯河原中学校						
事務事業名	生徒派遣事業								
予算科目コード	会計	1	款	9	項	5	目	1	事業開始年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基 本 目 標	政 策	分 野	主 要 施 策	細 施 策				
ゆがわら2022 プラン 前 期 基 本 計 画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の充実	③中学校教育の充実				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
				○					
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目 的	部活動派遣事業								
対 象	中学校の部活動で活動する生徒								
内 容	部活動において大会等に参加する生徒の交通費の一部（派遣費）								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和3年度(決算)		令和4年度(決算)		令和5年度(見込)	
	事業費		100,572		0	
コスト	人件費	常勤職員				
		会計年度任用職員等				
		人件費合計	0	0	0	0
	総事業費		53,284	100,572	0	0
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源		53,284	100,572	0	0
	財源合計		53,284	100,572	0	0
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
				0	0	0
				0	0	0
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
				0	0	0
				0	0	0

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	4	部活動において大会等に参加する生徒の活動を応援する。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4	部活動において大会等に参加する生徒の活動を応援する。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	4	部活動を通して成長する一助となる。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4	部活動で活動する生徒を対象としている。
令和4年度までの自己評価または改善点		部活動において大会等に参加する生徒の活動を応援する。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	行政が実施する必要がある。
令和5年度の見直し及び改善予定	部活動の活動に資する事業である。	
令和6年度以降の方向性	令和5年度以降は、「部活動運営経費」に統合する。	

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(見直し)	「部活動運営経費」に統合することで、事業のスリム化を図る。
---------	---------	-------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(見直し)	
---------	---------	--

令和5年度事務事業評価シート

令和6年3月22日

事業番号	5711	担当課等	湯河原中学校						
事務事業名	学校支援ボランティア活用事業(湯河原中学校)								
予算科目コード	会計	1	款	9	項	5	目	1	事業開始年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基 本 目 標	政 策	分 野	主 要 施 策	細 施 策				
ゆがわら2022 プラン 前 期 基 本 計 画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の充実	③中学校教育の充実				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
				○					
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目 的	地域の方々にかかわっていただき、地域との連携を図り、生徒を育てる教育環境を推進する。								
対 象	地域のボランティア								
内 容	授業における教師のサポートや、学校図書館の蔵書整理などに地域のボランティアに携わっていただく。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和3年度(決算)		令和4年度(決算)		令和5年度(見込)	
	事業費		4,545		104,000	
コスト	人件費	常勤職員				
		会計年度任用職員等				
		人件費合計	0	0	0	0
	総事業費		59,491	4,545	104,000	
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源		59,491	4,545	104,000	
	財源合計		59,491	4,545	104,000	
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
				0	0	0
				0	0	0
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
				0	0	0
				0	0	0

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	学校の様々な場面において地域ボランティアにかかわってもらうことで、学校環境の維持向上を図ることができる。
効 率 性	投入した費用に見合った効果が得られているか	5	学校の様々な場面において地域ボランティアにかかわってもらうことで、学校環境の維持向上を図ることができる。
類 似 性	他事業との類似はないか	5	地域の方が多く学校現場に接してもらうことで、地域と学習の連携が図られるとともに、教育現場の透明性を図ることができる。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	地域の方が多く学校現場に接してもらうことで、地域と学習の連携が図られるとともに、教育現場の透明性を図ることができる。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	3	学校環境の維持向上及び透明性が確保されることで 児童・生徒の学校生活の向上につながる。
令和4年度までの自己評価または改善点		新型コロナウイルス感染症の影響により縮小していた活動を再開することができた。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	事業の性格上、学校として行う必要があると考える。
令和5年度の見直し及び改善予定	感染対策に留意しながら、地域と連携を図っていく。	
令和6年度以降の方向性	今後も、学校運営の向上を図るよう取り組む。	

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	学校環境の維持向上をボランティアの協力をいただき継続的に図る必要がある。
---------	----------	--------------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	一次評価と同様
---------	----------	---------

令和5年度事務事業評価シート

令和6年3月22日

事業番号	5723	担当課等	湯河原中学校							
事務事業名	普通救命講習会開催事業									
予算科目コード	会計	1	款	9	項	5	目	1	事業開始年度	平成25年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基 本 目 標	政 策	分 野	主 要 施 策	細 施 策				
ゆがわら2022 プラン 前 期 基 本 計 画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の充実	③中学校教育の充実				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
				○					
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目 的	総合学習の時間で普通救急救命講習会を開催し命の大切さを学ぶ。								
対 象	湯河原中学校2年生								
内 容	普通救急救命講習会(人口呼吸、AEDの取り扱い等)を開催し、不測の事態に備えられるようにする。								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和3年度(決算)	令和4年度(決算)		令和5年度(見込)		
	事業費		0	0		84,000		
	人件費	常勤職員						
		会計年度任用職員等						
		人件費合計	0	0		0		
	総事業費		0	0		84,000		
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他特定財源							
	一般財源		0	0		84,000		
	財源合計		0	0		84,000		
活動指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和3年度	令和4年度	目標値
						0	0	0
						0	0	0
成果指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和3年度	令和4年度	目標値
						0	0	0
						0	0	0

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	総合学習の時間を使い実施している。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	消防本部の協力を得て実施している。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	人工呼吸やAEDの使い方を学ぶことによって、不測の事態に備えるとともに命の大切さを学ぶことができる。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	受講は2年生全員を対象としている。
令和4年度までの自己評価または改善点		令和4年度は、コロナウイルス感染症の影響により中止した。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	事業の性格上、学校として行う必要があると考える。
令和5年度の見直し及び改善予定	元年度からは新型コロナウイルス感染症対策による学校臨時休業や拡大防止対策として中止したが、今後は安全に実施できるよう検討する。	
令和6年度以降の方向性	コロナ禍前と同様に実施できるよう検討していく。	

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	人工呼吸やAEDの使い方を学ぶことによって、不測の事態に備えるとともに命の大切さを学ぶことができる。
------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	一次評価と同様
------	----------	---------

令和5年度事務事業評価シート

令和6年3月22日

事業番号	5728	担当課等	湯河原中学校						
事務事業名	生徒用机・椅子・教卓等整備事業(湯河原中学校)								
予算科目コード	会計	1	款	9	項	5	目	1	事業開始年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基 本 目 標	政 策	分 野	主 要 施 策	細 施 策				
ゆがわら2022 プラン 前 期 基 本 計 画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の充実	③中学校教育の充実				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
				○					
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目 的	生徒用机・椅子・教卓等の学校用品を更新し、生徒が安全・安心して学習できる環境を整備する。								
対 象	湯河原中学校								
内 容	生徒用机、椅子、教卓等の修繕及び更新。 学校用品は、机の天板を張り替える等修繕して使用しており、修繕不能となるものを更新している。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和3年度(決算)		令和4年度(決算)		令和5年度(見込)	
	事業費		593,230		586,905	
コスト	人件費	常勤職員				
		会計年度任用職員等				
		人件費合計	0	0	0	0
	総事業費		593,230	586,905	594,000	594,000
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源		593,230	586,905	594,000	594,000
	財源合計		593,230	586,905	594,000	594,000
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
				0	0	0
				0	0	0
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
				0	0	0
				0	0	0

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	生徒が使用する机等の更新を図るため必要。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	長年の使用により破損する机等があるため、定期的に更新している。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	長年の使用により破損する机等があるため、定期的に更新している。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4	長年の使用により破損する机等があるため、定期的に更新している。
令和4年度までの自己評価または改善点		適宜更新することができている。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	備品等の修繕及び更新事業のため、行政として行う必要があると考える。
令和5年度の見直し及び改善予定	学校の要望を的確に把握し、更新していく。	
令和6年度以降の方向性	現状維持。生徒数の推移を注視していく。	

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	破損したり古くなった机・椅子を定期的に更新していく。
---------	----------	----------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	一次評価と同様
---------	----------	---------

令和5年度事務事業評価シート

令和6年3月22日

事業番号	5735	担当課等	湯河原中学校						
事務事業名	防災備蓄用品購入事業								
予算科目コード	会計	1	款	9	項	5	目	1	事業開始年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基 本 目 標	政 策	分 野	主 要 施 策	細 施 策				
ゆがわら2022 プラン 前 期 基 本 計 画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の充実	③中学校教育の充実				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
				○					
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目 的	緊急時における生徒の安全確保を図るため、毎年防災備蓄品を順次整備している。								
対 象	湯河原中学校								
内 容	備蓄用食料、飲料水、防災用備品を整備する。								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和3年度(決算)	令和4年度(決算)		令和5年度(見込)	
	事業費		199,560	181,374		0	
	人件費	常勤職員					
		会計年度任用職員等					
		人件費合計	0	0		0	
	総事業費		199,560	181,374		0	
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源						
	一般財源		199,560	181,374		0	
	財源合計		199,560	181,374		0	
活動指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0
成果指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	緊急時における生徒の安全確保を図るため実施する。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	毎年、防災備蓄品を順次整備している。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	屋上避難や、教室に待機する際に生徒の安全確保が図られる。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4	湯河原中学校生徒全員に対して防災備品を整備している。
令和4年度までの自己評価または改善点		継続的に防災備品を整備している。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	防災備蓄用品購入事業のため、行政として行う必要があると考える。
令和5年度の見直し及び改善予定	学校と連携を図り、要望に沿った備品等を整備します。	
令和6年度以降の方向性	令和5年度より、小学校購入分と統合するため事務局費に移すが、引続き、学校と連携を図り、児童・生徒数の推移を注視し、整備を行う。	

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	防災備蓄用品は、継続的に整備していく必要がある。
---------	----------	--------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	一次評価と同様
---------	----------	---------

令和5年度事務事業評価シート

令和6年3月22日

事業番号	7794	担当課等	湯河原中学校						
事務事業名	校舎等整備事業(湯河原中学校)								
予算科目コード	会計	1	款	9	項	5	目	1	事業開始年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細 施 策
ゆがわら2022 プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の充実	⑩教育施設・設備・整備の推進
関連する個別計画					
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー
	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等	
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源
	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし	
目 的	学校の修繕必要箇所や工事必要箇所を計画的に改修し、維持管理を図るもの。				
対 象	湯河原中学校				
内 容	令和4年度は、空調設備の整備を実施しました。				

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和3年度(決算)		令和4年度(決算)		令和5年度(見込)	
	事業費		3,828,000		4,290,000	
コスト	人件費	常勤職員				0
		会計年度任用職員等				
		人件費合計	0	0	0	0
	総事業費		3,828,000	4,290,000	0	0
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源		3,828,000	4,290,000	0	0
	財源合計		3,828,000	4,290,000	0	0
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
				0	0	0
				0	0	0
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
				0	0	0
				0	0	0

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	4	維持管理や改修については、学校と連携し実施する必要があるため。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4	長寿命化計画に従い、適切な維持管理を図ること出来ている。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	4	長寿命化計画に従い、適切な維持管理を図ること出来ている。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4	各学校に修繕等の必要箇所が多くあるので、計画的に改修する必要がある。
令和4年度までの自己評価または改善点		令和4年度は、国庫補助制度を活用し、空調設備の整備工事を行いました。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	学校施設の維持管理は教育委員会並びに学校長であるため。
令和5年度の見直し及び改善予定	学校が希望する修繕必要箇所を精査し、計画的に改修をしていく。また、改修を要する箇所や適正な時期を見直すなど、学校と連携を図りながら実施していく必要がある。	
令和6年度以降の方向性	今後も継続して、児童・生徒の安全・安心の向上を図るため、計画的な改修等を行います。	

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	計画的に施設改修等を行います。
---------	----------	-----------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	一次評価と同様
---------	----------	---------

令和5年度事務事業評価シート

令和6年3月22日

事業番号	11910		担当課等		湯河原中学校					
事務事業名	新型コロナウイルス感染症対策事業(湯河原中学校)									
予算科目コード	会計	1	款	9	項	5	目	1	事業開始年度	令和2年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基 本 目 標	政 策	分 野	主 要 施 策	細 施 策				
ゆがわら2022 プラン 前 期 基 本 計 画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の充実	⑩教育施設・設備・整備の推進				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
				○					
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目 的	学校における新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、安全・安心な学校生活を推進します。								
対 象	湯河原中学校の生徒及び教職員								
内 容	新型コロナウイルス感染症対策として保健衛生用品や備品を整備します。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和3年度(決算)		令和4年度(決算)		令和5年度(見込)	
	事業費		1,310,000		1,350,000	
コスト	人件費	常勤職員				
		会計年度任用職員等				
		人件費合計	0	0	0	0
	総事業費		1,310,000	1,350,000	1,020,000	
財源内訳	国庫支出金		1,310,000	1,350,000	510,000	
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源		0	0	510,000	
	財源合計		1,310,000	1,350,000	1,020,000	
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
				0	0	0
				0	0	0
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
				0	0	0
				0	0	0

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	生徒及び教職員等の安全・安心の確保や支援であるため、行政が行います。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	新型コロナウイルス感染症対策を充実することができた。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	新型コロナウイルス感染症対策を充実し、生徒が感染症対策等を習慣化することができた。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	消耗品が大多数を占めるので、定期的な整備が必要となります。
令和4年度までの自己評価または改善点		国庫補助制度を活用し、迅速に消毒液、空気清浄機等の保健衛生用品や、備品を整備し、感染症対策を講じた学校運営を行うことができた。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	性質上、行政が実施する必要がある。
令和5年度の見直し及び改善予定	令和5年度においても、保健衛生用品や備品の整備をし活用していく。	
令和6年度以降の方向性	今後も継続して、感染症対策を講じ安全・安心な学校生活を推進します。	

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(見直し)	新型コロナウイルス感染症が5類に移行したが、他の感染症も含め引き続き対策を講じる必要がある。
---------	---------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(見直し)	一次評価と同様
---------	---------	---------

令和5年度事務事業評価シート

令和6年3月22日

事業番号	5782		担当課等		湯河原中学校					
事務事業名	外部教育力活用事業(湯河原中学校)									
予算科目コード	会計	1	款	9	項	5	目	2	事業開始年度	令和3年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基 本 目 標	政 策	分 野	主 要 施 策	細 施 策				
ゆがわら2022 プラン 前 期 基 本 計 画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の充実	③中学校教育の充実				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
				○					
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目 的	中学校の卒業期をとらえ、生徒の調和ある心身の発達と個性の伸長を促すとともに、自らを振り返り、自己の向上と今後の充実した生き方に示唆を与えるもの。								
対 象	湯河原中学校生徒								
内 容	卒業予定の中学3年生に対して、講演会を行うもの。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和3年度(決算)		令和4年度(決算)		令和5年度(見込)	
	事業費		30,000		100,000	
コスト	人件費	常勤職員				
		会計年度任用職員等				
		人件費合計	0	0	0	0
	総事業費		30,000	30,000	100,000	100,000
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源		30,000	30,000	100,000	100,000
	財源合計		30,000	30,000	100,000	100,000
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
				0	0	0
				0	0	0
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
				0	0	0
				0	0	0

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	自己の向上として、卒業生を対象に講演会を実施しているため。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	講演会の開催により、教育活動をより充実したものにできている。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	講演会の開催により、教育活動をより充実したものにできている。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4	毎年、卒業生を対象としているため公平性を保っている。
令和4年度までの自己評価または改善点		外部講師をお招きし講演会を開催し、学校教育活動の充実を図った。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	講演会を開催することで、生徒の教育活動の充実を図るため。
令和5年度の見直し及び改善予定	今後も継続実施する。	
令和6年度以降の方向性	引き続き、学校教育活動の充実を図る一助となるよう取り組む。	

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	継続して事業を実施することにより、生徒の教育活動の充実を図る必要がある。
---------	----------	--------------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

--

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	一次評価と同様
---------	----------	---------

令和5年度事務事業評価シート

令和6年3月22日

事業番号	12469	担当課等	湯河原中学校							
事務事業名	図書等整備事業(湯河原小学校)									
予算科目コード	会計	1	款	9	項	5	目	2	事業開始年度	令和3年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
ゆがわら2022 プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の充実	③中学校教育の充実				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
				○					
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	学校図書の充実や、多様化する学習内容へ対応していくための、教師の資質向上を図るもの。								
対象	湯河原中学校生徒及び教職員								
内容	学校図書館における児童用図書、教師用指導書、教育振興教材備品、特別支援教育振興備品を購入・整備するもの。								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和3年度(決算)		令和4年度(決算)		令和5年度(見込)	
	事業費		4,603,435		1,513,003		1,649,000	
	人件費	常勤職員						
		会計年度任用職員等						
		人件費合計	0		0		0	
	総事業費		4,603,435		1,513,003		1,649,000	
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他特定財源							
	一般財源		4,603,435		1,513,003		1,649,000	
	財源合計		4,603,435		1,513,003		1,649,000	
活動指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和3年度	令和4年度	目標値
						0	0	0
						0	0	0
成果指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和3年度	令和4年度	目標値
						0	0	0
						0	0	0

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	文部科学省の学校図書館整備計画に基づき学校図書館の蔵書等の充実を図るもの。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	蔵書の入替え・充実を図ることで児童の利用が促進できる。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	蔵書の入替え・充実を図ることで児童の利用が促進できる。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	蔵書の入替え・充実を図ることで児童の利用が促進できる。
令和4年度までの自己評価または改善点	令和2年度までの「図書整備事業」、「指導用図書等整備事業」及び「教育振興教材備品事業」を統合したもので、事務のスリム化を図った。 また、学校において児童用図書等の整備を行った。		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	学校図書館の蔵書整備等のため、行政として行う必要があると考える。
令和5年度の見直し及び改善予定	学校の要望を的確に把握し、過不足なく整備していく。	
令和6年度以降の方向性	整備すべき備品等については、今後とも継続して行う必要がある。	

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	定期的な整備を要します。
---------	----------	--------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	一次評価と同様
---------	----------	---------

令和5年度事務事業評価シート

令和6年3月22日

事業番号	12470	担当課等	湯河原中学校							
事務事業名	総合的学習等推進事業(湯河原中学校)									
予算科目コード	会計	1	款	9	項	5	目	2	事業開始年度	令和3年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
ゆがわら2022 プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の充実	③中学校教育の充実				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
				○					
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	各学年の発達段階に応じた活動や調べ学習を行い、教科にとらわれない総合的な課題などについて学習を行います。また、全教職員が参画する校内事業研究会の開催等を推進しました。								
対象	湯河原中学校生徒及び教職員								
内容	教職員の資質向上を図るもの。 町が推進する「緑と花のある町づくり」に連動し、情操教育の推進を図る。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和3年度(決算)		令和4年度(決算)		令和5年度(見込)	
	事業費		209,251		419,000	
コスト	人件費	常勤職員				
		会計年度任用職員等				
		人件費合計	0	0	0	0
	総事業費		324,623	209,251	419,000	
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源		324,623	209,251	419,000	
	財源合計		324,623	209,251	419,000	
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
				0	0	0
				0	0	0
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
				0	0	0
				0	0	0

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	総合的な学習内容の充実を図るため、学校において事業を実施する必要がある。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	総合的な学習内容をより充実したものにできている。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	総合的な学習内容をより充実したものにできている。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	全生徒を対象としているため公平性を保っている。
令和4年度までの自己評価または改善点	令和2年度までの「教育研究発表事業」、「花いっぱい教育推進事業」及び「総合的な学習推進事業」を統合したもので、事務のスリム化を図った。 また、学校において総合的な学習の推進を図ることができた。		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	生徒及び教職員が総合的な学習を推進するため。
令和5年度の見直し及び改善予定	今後も継続実施する。	
令和6年度以降の方向性	引き続き、各学年の発達段階に応じた学習内容を検討する。	

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	継続して事業を実施することにより、児童の学習意欲の向上及び教職員の資質の向上を図る必要がある。
---------	----------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	一次評価と同様
---------	----------	---------

令和5年度事務事業評価シート

令和6年3月22日

事業番号	12471	担当課等	湯河原中学校							
事務事業名	部活動推進事業									
予算科目コード	会計	1	款	9	項	5	目	2	事業開始年度	令和3年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
ゆがわら2022 プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の充実	③中学校教育の充実				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
				○					
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	部活動の充実を図るため、部活動用品の整備や専門的な指導力の強化をするもの。								
対象	湯河原中学校生徒、地域の方								
内容	部活動用品の更新や修繕、外部指導者の充実等								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和3年度(決算)		令和4年度(決算)		令和5年度(見込)	
	事業費		864,566		1,406,966		3,360,000	
	人件費	常勤職員						
		会計年度任用職員等						
		人件費合計	0		0		0	
	総事業費		864,566		1,406,966		3,360,000	
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他特定財源							
	一般財源		864,566		1,406,966		3,360,000	
	財源合計		864,566		1,406,966		3,360,000	
活動指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和3年度	令和4年度	目標値
						0	0	0
						0	0	0
成果指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和3年度	令和4年度	目標値
						0	0	0
						0	0	0

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	部活動の充実を図るため、学校において事業を実施する必要がある。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	部活動の推進について、より充実したものにできている。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	部活動の推進について、より充実したものにできている。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	全部活を対象としているため公平性を保っている。
令和4年度までの自己評価または改善点	令和2年度までの「部活動用品整備事業」、「吹奏楽部楽器整備事業」及び「部活動外部補助指導事業」を統合したもので、事務のスリム化を図った。 また、学校において総合的な学習の推進を図ることができた。		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	性質上、行政及び学校において事業を実施するため。
令和5年度の見直し及び改善予定	継続して、計画的に部活動用品の整備を行う。	
令和6年度以降の方向性	部活動用品については、経年劣化等により損傷がみられますので、計画的な整備を行います。 また、外部指導者の充実により、超過する教職員の働き方改革にも繋がりますので、学校への支援を更に図ります。	

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(拡大)	継続的に部活動の振興を図り、地域指導者への適切な支援など検討していく。
---------	--------	-------------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

--

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(拡大)	一次評価と同様
---------	--------	---------

令和5年度事務事業評価シート

令和6年3月22日

事業番号				担当課等	湯河原中学校					
事務事業名	「いのち」を大切にすることをはぐくむ教育推進研究受託事業									
予算科目コード	会計	1	款	9	項	5	目	2	事業開始年度	令和4年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
ゆがわら2022 プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の充実	③中学校教育の充実				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
				○					
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	「いのち」を大切にすることをはぐくむ								
対象	湯河原中学校生徒及び教職員								
内容	ACT(アートコミュニケーショントレーニング)の特別授業と校門前に掲示する横断幕「みんなに広げられ感謝の気持ち」の作成								

2 実施結果

(単位 円)

実施結果

		区 分	令和3年度(決算)	令和4年度(決算)		令和5年度(見込)		
コスト		事業費	0	120,000		0		
	人件費	常勤職員						
		会計年度任用職員等						
		人件費合計	0	0		0		
		総事業費	0	120,000		0		
財源内訳		国庫支出金						
		県支出金		120,000				
		地方債						
		その他特定財源						
		一般財源	0	0		0		
		財源合計	0	120,000		0		
活動指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和3年度	令和4年度	目標値
						0	0	0
						0	0	0
成果指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和3年度	令和4年度	目標値
						0	0	0
						0	0	0

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	4	「いのち」を大切にする心をはぐくむ教育を推進研究できる。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4	これまで取り組んできた教育活動について、改めてその意義や目的を再確認できる。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	4	「人と人との関わりながら生きる」というねらいの実現に向けた取り組みが実践できる。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4	生徒主体で取り組んでいる。
令和4年度までの自己評価または改善点		継続的に取り組んでいる「いのちの授業」につながる事業となった。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	事業の性質上、行政が実施する必要がある。
令和5年度の見直し及び改善予定	神奈川県に委託された単年度事業	
令和6年度以降の方向性	神奈川県に委託された単年度事業	

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	完了	県委託事業として1年で完了した。
------	----	------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	完了	
------	----	--

令和5年度事務事業評価シート

令和6年3月22日

事業番号	5896	担当課等	福浦幼稚園						
事務事業名	幼稚園子育て支援事業								
予算科目コード	会計	1	款	9	項	6	目	1	事業開始年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基 本 目 標	政 策	分 野	主 要 施 策	細 施 策				
ゆがわら2022 プラン 前 期 基 本 計 画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	2 幼児教育	(1) 幼児教育の充実	①教育内容の充実				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
				○					
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目 的	降園後に保護者が用事等で保育できない園児に対し、預かり保育を実施することで子育て支援を行う。								
対 象	福浦幼稚園園児								
内 容	子育て支援の一環として午後2時から午後4時までの2時間の預かり保育を実施するもの。								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和3年度(決算)	令和4年度(決算)		令和5年度(見込)	
	事業費		87,460	94,648		75,000	
	人件費	常勤職員					
		会計年度任用職員等					
		人件費合計	0	0		0	
	総事業費		87,460	94,648		75,000	
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源						
	一般財源		87,460	94,648		75,000	
	財源合計		87,460	94,648		75,000	
活動指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
預かり保育実施日(週あたり)					5	5	0
保育延人数					294	312	0
成果指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	安心して預けられる保育を実施することができる。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	月～金 14時00分～16時00分に開催、保護者負担金1回450円、おやつ代を含む。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	安心して預けられる保育を実施することができる。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	園児保護者に受益者負担を負担してもらっている。
令和4年度までの自己評価または改善点	保護者負担額を1回500円から450円に下げた。また、令和元年度10月からの子ども子育て支援法の一部改正により、支給認定区分によって無償化される世帯ができ、ニーズが増えた。		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	事業の性格上、幼稚園として行う必要があると考える。
令和5年度の見直し及び改善予定	園児数については、年々減少傾向にあるが、保護者負担額の減額や無償化の制度利用により、預かり保育の充実が図られ、利用者数については増加傾向にある。	
令和6年度以降の方向性	保護者ニーズを把握しながら継続実施する。	

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	保護者のニーズは高く、今後も継続実施していく。
------	----------	-------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	一次評価と同様
------	----------	---------

令和5年度事務事業評価シート

令和6年3月22日

事業番号	11465	担当課等	学校教育課							
事務事業名	新型コロナウイルス感染症対策事業(福浦幼稚園)									
予算科目コード	会計	1	款	9	項	6	目	1	事業開始年度	令和2年度

1 事業概要(令和4年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細 施 策				
ゆがわら2022 プラン 前 期 基 本 計 画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	2 幼児教育	(1) 幼児教育の充実	⑩教育施設・設備・整備の推進				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
				○					
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目 的	各小・中学校及び幼稚園にて、新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、安全・安心な学校(園)生活を推進するもの。								
対 象	町内各小中学校、幼稚園の児童・生徒及び教職員								
内 容	新型コロナウイルス感染症対策として保健衛生用品等を整備するもの。								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和3年度(決算)	令和4年度(決算)		令和5年度(見込)	
	事業費		3,868,467	97,097		0	
	人件費	常勤職員	2,805,200				
		会計年度任用職員等					
		人件費合計	2,805,200	0		0	
	総事業費		6,673,667	97,097		0	
財源内訳	国庫支出金		3,868,467				
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源						
	一般財源		2,805,200	97,097		0	
	財源合計		6,673,667	97,097		0	
活動指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0
成果指標			指標設定の理由・考え方	単位	令和3年度	令和4年度	目標値
					0	0	0
					0	0	0

3 令和4年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	生徒・児童及び教職員等の安全・安心の確保や支援であるため、行政が行います。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	新型コロナウイルス感染症対策を充実することができた。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	新型コロナウイルス感染症対策を充実し、児童・生徒が感染症対策等を習慣化することができた。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4	消耗品が大多数を占めるので、定期的な整備が必要となります。
令和4年度までの自己評価または改善点		国庫補助制度を活用し、迅速に消毒液、網戸等の保健衛生用品や、備品を整備し、感染症対策を講じた学校運営を行うことができた。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	性質上、行政が実施する必要がある。
令和5年度の見直し及び改善予定	令和5年度においても、保健衛生用品や備品の整備をし活用していく。	
令和6年度以降の方向性	今後も継続して、感染症対策を講じながら安全・安心な学校生活を推進する。	

5 一次評価(令和6年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(見直し)	新型コロナウイルス感染症は5類へ移行したが、他の感染症も含め対策を講じていく。
---------	---------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(見直し)	一次評価と同様
---------	---------	---------